

平成 23 年 11 月 17 日

平成 2 3 年度
青森市教育委員会事務の管理及び
執行の状況の点検及び評価報告書
- 平成 2 2 年度の実績 -

青森市教育委員会

青市教報告第1号

平成23年11月17日

青森市議会議長 花田明仁様

青森市教育委員会

平成23年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び
評価報告書

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項の規定により、
平成23年度青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報
告書を次のとおり提出する。

目 次 -

1 . 平成 2 2 年度教育委員会の活動状況	
(1) 教育委員	1
(2) 教育委員会会議審議案件	1
(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	4
2 . 教育委員会事務の点検・評価	
(1) 経緯	6
(2) 対象事業	6
(3) 学識経験者の知見の活用	6
(4) 学識経験者	6
(5) 点検・評価方法	6
(6) 平成 2 2 年度の教育施策の体系	7
3 . 点検・評価結果	
政策第 1 節 生きる力を育む教育環境	8
政策第 2 節 生活と地域を豊かにする生涯学習	3 6
政策第 3 節 豊かな感性を磨く文化・芸術	5 1
政策第 4 節 だれもが親しめるスポーツ・レクリエーション	6 7
政策第 5 節 人の輪を広げる地域間交流	8 1
4 . まとめ	8 4

1. 平成22年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（平成23年11月17日現在）

職名	氏名	任期	就任年月日
委員長	柳谷章二	H20.5.20 ~ H24.5.19	H17.9.22
委員長 職務代行者	鎌田慎也	H21.5.20 ~ H25.5.19	H17.4.1
委員	西村恵美子	H22.5.20 ~ H26.5.19	H18.5.20
委員	平出道雄	H23.5.20 ~ H27.5.19	H19.5.20
委員	土田美貴	H20.4.1 ~ H24.3.31	H20.4.1
教育長	月永良彦	H21.6.1 ~ H25.5.19	H21.6.1

(2) 教育委員会会議審議案件

会議	議案及び報告事項
定例会 平成22年4月26日 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第31号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>議案第32号 青森市小学校給食施設建設方針について</p> <p>議案第33号 平成22年度浪岡地区奨学生の決定に係る意見について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 平成21年度包括外部監査について</p> <p>(2) 平成23年度全国高等学校総合体育大会の開催について</p> <p>(3) あおもり国際版画トリエンナーレ2010について</p> <p>(4) 寄附採納について</p> <p>(5) 青森市立新城中学校屋内運動場改築工事完了について</p> <p>(6) 青森市立新城小学校屋外体育施設整備工事の工事期間の変更について</p> <p>(7) 平成21年度小・中学校の耐震診断の結果について</p> <p>(8) 平成22年度全国学力・学習状況調査の実施について</p>
定例会 平成22年5月19日 中央市民センター 3階 中会議室	<p>【議案】</p> <p>議案第34号 青森市教育委員会事務の専決等に関する規程の一部を改正する規程の制定について</p> <p>議案第35号 青森市立小学校及び中学校の就学に関する規則の一部を改正する規則の制定について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 青森市立新城中学校屋外体育施設整備工事について</p> <p>(2) 青森市立甲田小学校建造物損壊について</p>
臨時会 平成22年6月2日 柳川庁舎 5階 教育長室	<p>【議案】</p> <p>議案第36号 平成22年度一般会計補正予算について</p>
定例会 平成22年6月23日 教育研修センター 4階 第2研修室	<p>【議案】</p> <p>議案第37号 臨時に代理し処理した事項の承認について</p> <p>【報告】</p> <p>(1) 市民図書館職員の不正アクセス禁止法違反等事件による逮捕について</p> <p>(2) 財団法人青森市文化スポーツ振興公社元職員の損害賠償請求訴訟に係る判決について</p> <p>(3) 八甲田登山線付近における遭難事故について</p> <p>(4) 市民図書館内での暴行事件について</p> <p>(5) 市民図書館の開館時間延長の試行について</p> <p>(6) 寄附採納について</p> <p>(7) 青森市少年海外生活体験事業について</p> <p>(8) 青森市PTA連合会ねぶたの「青森ねぶたお祭り広場」への参加について</p> <p>(9) 青森市中央市民センター安田分館の供用開始について</p> <p>(10) 平成23年度使用小学校用教科用図書採択について</p>

会 議	議案及び報告事項
臨時会 平成 22 年 7 月 6 日 柳川庁舎 5 階 教育長室	【議案】 議案第 3 8 号 職員（県費負担職員を除く。）の懲戒処分について
定例会 平成 22 年 7 月 28 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 3 9 号 青森市就学指導委員会に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 4 0 号 青森市立小学校及び中学校の職員の服務等に関する規程の一部を改正する規程の制定について 議案第 4 1 号 青森市生涯学習推進委員会委員の任命について 議案第 4 2 号 平成 2 3 年度使用小学校用教科用図書の採択について 【報告】 （ 1 ）市内中学校における器物損壊事件について
定例会 平成 22 年 8 月 12 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 4 3 号 平成 22 年度一般会計補正予算について 議案第 4 4 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 議案第 4 5 号 青森市スポーツ振興審議会委員の任命について 【報告】 （ 1 ）平成 22 年度青森市少年海外生活体験事業について （ 2 ）横内小学校校舎等耐震補強工事について （ 3 ）市内中学校における器物損壊事件について （ 4 ）平成 22 年度全国学力・学習状況調査における抽出調査の結果について
定例会 平成 22 年 9 月 27 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 4 6 号 青森市立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 4 7 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 【報告】 （ 1 ）平成 2 2 年第 3 回市議会定例会の質問概要について （ 2 ）寄附採納について （ 3 ）平成 2 1 年度包括外部監査結果への対応（措置状況）について （ 4 ）あおり国際版画トリエンナーレ 2010 審査結果について （ 5 ）青森市読書団体連絡会の「野間読書推進賞」受賞について （ 6 ）新移動図書館の運行について （ 7 ）公金取扱状況の実地検査における指摘事項について
定例会 平成 22 年 10 月 25 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 4 8 号 青森市教育委員会エネルギー管理規程の制定について 議案第 4 9 号 青森市文化賞表彰規則の一部を改正する規則の制定について 【報告】 （ 1 ）「第 5 回青森市中学生ピアノコンクール」の開催について （ 2 ）学校事務の共同実施報告書について （ 3 ）インフルエンザの発生状況について （ 4 ）中学校給食センターの不具合による学校給食の中止について （ 5 ）平成 2 2 年度全国学力・学習状況調査における抽出調査の結果について
臨時会 平成 22 年 11 月 10 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 5 0 号 青森市教育委員会事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書について 議案第 5 1 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 議案第 5 2 号 旧青森県青年の家について 【報告】 （ 1 ）市内中学校における行き過ぎた指導について （ 2 ）今夏の猛暑における子どもたちの健康管理の調査結果について

会 議	議案及び報告事項
定例会 平成 22 年 11 月 17 日 浪岡事務所 2 階 大会議室	【議案】 議案第 5 3 号 青森市奨学金貸与条例の制定について 議案第 5 4 号 公の施設の指定管理者の指定について（古川市民センター） 議案第 5 5 号 公の施設の指定管理者の指定について（沖館市民センター） 議案第 5 6 号 公の施設の指定管理者の指定について（青森市文化会館ほか 1 2 施設） 議案第 5 7 号 公の施設の指定管理者の指定について（青森市森の広場） 議案第 5 8 号 平成 2 2 年度一般会計補正予算について 【報告】 （ 1 ）寄附採納について （ 2 ）あおり国際版画トリエンナーレ 2010 展について （ 3 ）青森市小・中学生カーリングチャレンジカップの実施について （ 4 ）公用車事故に伴う和解の専決処分の報告について （ 5 ）青森市立新城中学校屋外体育施設整備工事の変更契約にかかる専決処分の報告について （ 6 ）旧鶴ヶ坂小学校の売却について （ 7 ）青森市小学校給食センター等整備運営事業について （ 8 ）学校給食中止時における学校の状況について
定例会 平成 22 年 12 月 20 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 5 9 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 議案第 6 0 号 臨時に代理し処理した事項の承認について 【報告】 （ 1 ）中学校給食センター職員の体調不良による学校給食の中止について （ 2 ）旧県青年の家について （ 3 ）財団法人青森市文化スポーツ振興公社の損害賠償請求に係る同公社関係者への求償について （ 4 ）青森市文化会館のボイラー不完全燃焼による黒煙発生について （ 5 ）あおり国際版画トリエンナーレ 2010 について （ 6 ）平成 2 3 年度全国高等学校総合体育大会青森市開催競技総合ポスター・プログラム表紙図案募集事業の受賞者について （ 7 ）平成 2 2 年度青森市成人式について （ 8 ）平成 2 2 年度青森市中学校生徒海外派遣事業について
定例会 平成 23 年 1 月 27 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 なし 【報告】 （ 1 ）市内中学校における不適切な試験問題への対応について （ 2 ）平成 2 2 年第 4 回市議会定例会の質問概要について （ 3 ）平成 2 2 年度青森市成人式について （ 4 ）第 2 3 回棟方志功賞版画展の開催について （ 5 ）第 6 回全国高等学校カーリング選手権大会の開催について （ 6 ）平成 2 3 年度全国高等学校総合体育大会 181 日前カウントダウンイベントの開催について （ 7 ）森林博物館「小牧野遺跡展示室」オープンについて （ 8 ）青森市子ども読書活動推進計画第二次計画の素案について （ 9 ）中学校給食センターの給食開始について （ 10 ）平成 2 2 年度青森県学校給食献立コンクールについて （ 11 ）平成 2 2 年度学習状況調査（県教委実施）の結果概要について （ 12 ）青森市中学校生徒海外派遣事業の実施報告について
定例会 平成 23 年 2 月 16 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議案】 議案第 1 号 青森市奨学金貸与条例施行規則の制定について 議案第 2 号 青森市駐車場条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 3 号 青森市文化会館条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 4 号 青森市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について 議案第 5 号 専決処分の報告について 議案第 6 号 平成 2 2 年度一般会計補正予算について 議案第 7 号 平成 2 3 年度一般会計当初予算について 議案第 8 号 県費負担教職員の任免の内申について 【報告】 （ 1 ）寄附採納について （ 2 ）放送大学青森学習センター再視聴施設の開設について （ 3 ）第 6 回全国高等学校カーリング選手権大会の結果について （ 4 ）平成 2 2 年度青森市文化賞・スポーツ賞表彰式の開催について

会 議	議案及び報告事項
臨時会 平成 23 年 2 月 28 日 教育研修センター 4 階 第 2 研修室	【議会】 議案第 9 号 青森市教育施策の方針について 議案第 10 号 平成 22 年度一般会計補正予算について 議案第 11 号 教育委員会事務局の人事異動について 【報告】なし
定例会 平成 23 年 3 月 28 日 教育研修センター 5 階 大研修室	【議案】 議案第 12 号 青森市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 13 号 青森市教育委員会事務局の組織及び運営に関する規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 14 号 青森市民図書館条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 15 号 青森市民センター条例施行規則及び青森市体育施設条例施行規則の一部を改正する規則の制定について 議案第 16 号 教育長の権限に属する事務の一部を学校長に委任する規程の一部を改正する規程の制定について 議案第 17 号 職員（県費負担職員を除く。）の懲戒処分等について 議案第 18 号 職員（県費負担職員を除く。）の懲戒処分等について 【報告】 （1）「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」発生に伴う教育委員会における被害状況と対応について （2）専決処分について （3）自然体験交流施設（旧県青年の家）開設に向けた方針（素案）」に係るわたしの意見提案制度（パブリックコメント）の実施について （4）寄附採納について （5）平成 23 年度全国高等学校総合体育大会青森市実行委員会第 2 回総会の開催について （6）「縄文遺跡群世界遺産について学ぶ会」及び「小牧野遺跡世界遺産登録説明会」の開催について

（3）教育委員会会議以外の主な活動状況

月	活動内容
平成 22 年 4 月	<ul style="list-style-type: none"> 4 月 8 日 青森市小・中学校長会 4 月 9 日 東青管内小・中学校校長会 4 月 10 日 東青管内小・中学校教頭会 4 月 15 日 市町村教育委員会教育長会議 4 月 16 日 全国市町村教育委員会連合会理事会 4 月 16 日 青森県都市教育長協議会 4 月 28 日 青森県市町村教育委員会連絡協議会理事会・教育長会代表者会議
5 月	<ul style="list-style-type: none"> 5 月 8 日 青森市青少年育成市民会議総会 5 月 9 日 青森市 PTA 連合会総会 5 月 12 日 青森県市町村教育委員会連絡協議会教育長会定期総会 5 月 15 日 青森県小学校長会総会 5 月 19 日 青森県小中学校教頭会定期総会 5 月 20 日 東青地区教科用図書採択協議会 5 月 20 日 青森市小・中学校長会臨時会 5 月 22 日 青森県市町村教育委員会連絡協議会定時総会 5 月 25 日 青森市子どもを犯罪から守る学校支援協議会
6 月	<ul style="list-style-type: none"> 6 月 5 日 青森市中学校長会 6 月 9 日 県教育長への青森県市町村教育委員会連絡協議会要望書提出 6 月 9 日 学校訪問（幸畑小学校） 6 月 12 日 学校訪問（浪打小学校、浪打中学校）
7 月	<ul style="list-style-type: none"> 7 月 3 日 全国市町村教育委員会連合会理事会 7 月 7 日 青森市小学校長会 7 月 9 日 東北六県市町村教育委員会連合会総会 7 月 10 日 東北六県市町村教育委員会連合会研修会 7 月 15 日 暴力追放青森市民会議定時総会 7 月 15 日 学校訪問（浪岡北小学校） 7 月 17 日 学校訪問（三内西小学校、三内中学校） 7 月 27 日 東青地区教科用図書採択協議会
8 月	<ul style="list-style-type: none"> 8 月 2～7 日 青森ねぶた祭 8 月 11 日 青森市献血推進協議会総会 8 月 27 日 青森市社会福祉大会

9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 9月26日 青森市総合防災訓練
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 10月2日 青森県知的障害教育研究大会青森大会 ・ 10月7日 青森県都市教育長協議会臨時会 ・ 10月10日 青森県立平内高等学校創立30周年記念式典 ・ 10月14日 青森市小学校連合音楽会 ・ 10月16日 学校訪問(高田中学校、荒川中学校) ・ 10月17日 青森市立南中学校創立40周年記念式典 ・ 10月18日 青森市立甲田中学校創立50周年記念式典 ・ 10月19日 青森市小学校長会 ・ 10月19日 縄文遺跡群世界遺産登録推進本部会議 ・ 10月20日 学校訪問(橋本小学校、良町小学校) ・ 10月23日 学校訪問(金浜小学校、荒川小学校) ・ 10月23日 青森市立浦町中学校創立50周年祝賀会
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 11月1日 青森県立北斗高等学校通信制創立10周年記念式典 ・ 11月2日 青森県言語障害児教育研究大会 ・ 11月6日 東北地区国語教育研究協議会 ・ 11月9日 子どもを犯罪から守る学校支援協議会 ・ 11月10日 東北地区小中学校教頭会研究大会青森大会 ・ 11月11日 市町村教育委員会委員長・教育長合同会議 ・ 11月13日 青森市青少年育成市民会議 ・ 11月17日 学校訪問(古川小学校) ・ 11月28日 青森市立大野小学校創立30周年記念式典
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 12月15日 青森県スポーツ振興審議会 ・ 12月17日 東青管内市町村教育委員会教育長会議
平成23年1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1月8日 青森市小学校長会 ・ 1月10日 青森市成人式 ・ 1月13日 中核市教育長会研修会 ・ 1月28日 施設視察(中学校給食センター) ・ 1月28日 学校訪問(沖館中学校)
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2月2日 青森市PTA連合会、校長会との意見交換会 ・ 2月6日 棟方志功賞版画展 ・ 2月11日 全国高等学校カーリング選手権大会 ・ 2月17日 東青地区教科用図書採択協議会 ・ 2月20日 青森市立金浜小学校開校式
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 3月21日 青森市立金浜小学校卒業式

2. 教育委員会事務の点検・評価

(1) 経緯

平成19年6月に「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」(以下「地教行法」という。)が改正され、平成20年4月から施行された。

改正地教行法では「教育委員会の責任体制の明確化」が規定されており、教育委員会が、毎年学識経験者の知見を活用しながら、その権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価(以下「点検・評価」という。)を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならないと規定されている。

本報告書は、地教行法第27条第1項の規定に基づき、平成22年度の教育委員会事務の点検・評価結果について報告するものである。

(2) 対象事業

青森市では、現在、平成23年度を初年度とする「青森市新総合計画 - 元気都市あおもり 市民ビジョン - 」前期基本計画を策定し、将来都市像の実現に向け、具体的な取組を推進しているところである。

今年度の点検・評価に当たっては、平成22年度の事務事業を対象としたものであることから、「前青森市総合計画「ネクスト AOMORI 推進プラン」前期基本計画(平成18年度～平成22年度)」の第5章「未来をひらく 豊かな人を育むまち」のうち、教育委員会が所管する19の施策と、これらの施策を推進するため平成22年度で実施した193の事務事業について実施した。

(3) 学識経験者の知見の活用

地教行法第27条第2項の規定による学識経験を有する者の知見の活用については、教育委員会事務局が行った点検・評価(以下「内部点検・評価」という。)の結果について、選任した学識経験者2名から個別に意見を聞き、これを参考に教育委員会において点検・評価を実施し、その結果を報告書にまとめた。

(4) 学識経験者

三 上 純 一

青森大学経営学部経営学科教授

・平成17年青森県教育庁県立学校課参事、平成19年青森商業高等学校長などを歴任

横 山 勉

青森県小学校長会事務局長

・平成17年青森市立筒井南小学校長、平成18年青森県小学校長会会長などを歴任

(5) 点検・評価方法

内部点検・評価

点検・評価は、担当課が次の評価区分に基づき、対象事務事業ごとに平成22年度分として掲げた目標に対する達成状況を次の4段階で評価した。

(評価区分)

A：達成指標の成果が上がり、その成果が前期基本計画の平成22年度の到達目標を達成した事務事業

B：達成指標の成果が上がり、その成果が平成22年度目標に及ばなかったものの平成21年度実績より上がった事務事業

C：現状値(平成17年度)より、達成指標の成果が上がったものの、その成果が平成22年度目標に及ばなかった事務事業

D：達成指標の成果が上がらず、実績値が総合計画策定時（平成17年度）の現状値より後退した事務事業

教育委員会による点検・評価

各施策において、施策に係る事業毎の内部点検評価結果に基づき、次の3段階で評価した。

（評価区分）

…Aの構成割合が100%の場合

…A及びBを合わせた構成割合が60%以上の場合

…A及びBを合わせた構成割合が60%未満の場合

（6）平成22年度の教育施策の体系

平成22年度は、まちづくりの最上位の指針として策定していた「前青森市総合計画「ネクストAOMORI 推進プラン」前期基本計画（平成18年度～平成22年度）」の第5章「未来をひらく 豊かな人を育むまち」を、本市の教育振興に係る基本的な計画と位置付け、その計画に沿って各施策・事業を実施した。

平成22年度 教育施策の体系と対象事業数

将来都市像	基本政策	政 策	施 策	対 象 事業数		
恵み豊かな森と海 男・女（ひと）が輝く 中核都市	第5章 未来をひらく 豊かな人を育むまち	第1節 生きる力を育む教育環境	1 確かな学力を育む教育の推進	19		
			2 豊かな心を育む教育の推進	6		
			3 特色ある教育の充実	2		
			4 教育環境の充実	35		
			5 就学支援の充実	7		
			6 学校・家庭・地域の協働による教育力の向上	18		
		第2節 生活と地域を豊かにする 生涯学習	1 生涯学習活動の充実	11		
			2 生涯学習支援システムの充実	9		
			3 生涯学習施設機能の充実	11		
		第3節 豊かな感性を磨く文化・芸術	1 文化・芸術活動の充実	12		
			2 版画文化の充実	3		
			3 伝承・伝統文化の保存・継承	4		
			4 文化財の保存・活用	18		
			5 文化・芸術施設機能の充実	4		
		第4節 だれもが親しめるスポーツ・レクリエーション	1 スポーツ・レクリエーション活動の充実	14		
			2 競技力の向上	9		
			3 スポーツ・レクリエーション施設機能の充実	7		
		第5節 人の輪を広げる地域間交流	1 国際交流の充実	3		
			2 国内交流の充実	1		
						193

3. 点検・評価結果

政策第1節：生きる力を育む教育環境

施策1	確かな学力を育む教育の推進	
施策の成果	児童生徒に必要とされる知識・技能が確実に定着するとともに、学ぶ意欲や向上心、思考力、判断力、表現力など、自ら課題を解決する能力が育まれます。	
関連事業（19事業）の内部点検評価結果 A：15件（78.9%） B：3件（15.8%） C：1件（5.3%） D：0件（0%）		評 価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 特に確かな学力の面で力を入れてきた「小・中連携教育課程研究開発事業」においては、市内全小・中学校で浸透し、教師間、児童生徒間の交流が図られ、授業展開の工夫など目に見えた成果が現れてきている。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>小・中連携について</p> <p>指定校での合同研修会、合同授業等、行事の教師間交流を踏まえ、早期に小・中連携による一貫した学習プログラムの開発と、その指導の実践を図るとともに、幼・保・小連携についても視野に入れての検討が必要である。</p> <p>教職員の資質向上について</p> <p>「全国教育研究所連盟研究協議会参加事業」や「教育展望セミナー参加事業」を通して得られた最新の教育情報等を教職員全員で共有することが重要であり、県総合学校教育センターとの連携も生かしつつ教職員向けの研修講座内容の一層の充実を期待する。</p> <p>就学指導について</p> <p>障害のある子どもの適正な就学支援を行うため、保護者の教育的ニーズを的確に把握するとともに、一層のきめ細かな情報提供に努める必要がある。</p>		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事業はスムーズに実施され成果を得ている。 教職員研修事業は充実した内容で実施されている。 確かな学力育成の基盤となる教員の資質向上を図る事業は、更なる内容の充実が求められることから、講師や特別支援教育支援員の研修等の充実が望まれる。 小学校における外国語活動は、ALT（語学指導員）の増員も視野に入れた各校への日常的な支援体制の充実を図る必要がある。 小・中連携は重要であるが、幼・保・小連携も視野に入れて取り組んで欲しい。 		

(資料) 施策 1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
就学指導委員会事務	障害のある児童生徒が障害の種類や程度に応じた就学の機会が得られるようにします。 【H22 目標値】 要支援者の適正就学率(100%)	幼児児童生徒 207 人に対し調査・検査等を実施しました。 平成 22 年度の特別支援学級数 85 学級(小学校が 57 学級(うち 11 学級が新設)、中学校が 28 学級(うち 4 学級が新設)) 【H22 要支援者の適正就学率】 76%	C	学務課
教科用図書無償給与事務	副読本購入に係る保護者負担を軽減します。 【H22 目標値】 社会科及び道徳副読本の給与率(100%)	【無償給与実績】 ・社会科副読本 小学校 5,495 人 ・道徳副読本 小学校 16,283 人 中学校 8,351 人 【社会科及び道徳副読本の給与率】 100%	A	学務課
学籍関係事務	学籍に関する業務を適正に実施します。 【H22 目標値】 適正処理率(100%)	学籍に関する業務を全学齢児童生徒に対し適正に実施しました。 【学級数】908 学級 小学校が 630 学級 中学校が 278 学級 【H22 適正処理率】 100%	A	学務課
特別支援教育支援員配置事業	通常学級に在籍している学習障害(LD)・注意欠陥多動性障害(ADHD)・肢体不自由等の児童生徒に適切な支援を行います。 【H22 目標値】 特別支援教育支援員数(23 人)	【配置校】 23 校 【勤務形態】 1 日 5 時間程度、1 週 5 日程度、年間 35 週 【勤務内容】授業等における学習活動の支援等 【H22 特別支援教育支援員数】 23 人	A	学務課

学校評議員関連事務	<p>学校評議員の意見を通じて、地域の意見を把握し、学校・家庭・地域との連携を図り、開かれた学校づくりを推進します。</p> <p>【H22 目標値】 学校評議員活用回数（870回）</p>	<p>学校が地域住民の信頼に応え、家庭や地域と連携協力し、一体となって子どもの成長を図っていくために、校長が地域の意見を集約することが可能となり、学校運営に活かすことができました。</p> <p>・小学校 619回 ・中学校 279回</p> <p>【H22 学校評議員活用回数】 898回</p>	A	指導課
実践指導事例集作成事業	<p>実践指導事例集を作成・配付することにより、教師が抱える学習指導上の悩み等を軽減し、本市の学校教育指導の方針と重点の実現を図る授業を展開します。</p> <p>【H22 目標値】 指導事例集の内容を紹介・普及した学校の割合（100%）</p>	<p>全小・中学校に実践指導事例集を作成・配付し、学校訪問の授業研究会（延べ686回）で説明することにより、教師が抱える学習指導上の悩み等を軽減するとともに、本市の学校教育指導の方針と重点の実現を図りました。</p> <p>【H22 指導事例集の内容を紹介・普及した学校の割合】 100%</p>	A	指導課
学校教育指導方針推進事業	<p>「青森市教育施策の方針」を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 学校訪問で学校教育指導の方針と重点を説明した学校の割合（100%）</p>	<p>5月～11月にかけて、全小・中学校70校において、学校教育指導の方針と重点を30分～45分程度説明し、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子どもを育成するとともに、各学校が特色ある教育課程を編成しました。</p> <p>【H22 学校訪問で学校教育指導の方針と重点を説明した学校の割合】 100%</p>	A	指導課
学校訪問教育指導事業	<p>学校運営上の諸課題や教員の学習指導上の悩みや不安を軽減・解消し、教職員のより一層の資質の向上を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 指導主事一人あたりの授業研究会回数（47回）</p>	<p>指導主事の授業研究会（5月～11月で延べ686回）における指導助言によって、学校運営の諸課題や教員一人ひとりの学習指導上の悩みや不安を軽減・解消し、教職員のより一層の資質の向上を図りました。</p> <p>【H22 指導主事一人あたりの授業研究会回数】 49回</p>	A	指導課

<p>特別支援教育充実対策事業 (負担金)</p>	<p>小・中学校教育との一貫性のある高等学校教育ができるよう、特別支援学校、関係機関との連携を密にするとともに、個に応じた適切な指導計画や指導方法等のあり方について連携を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 校内の通常の学級や特別支援教育諸学校等と連携している学校数 (54校)</p>	<p>子ども一人ひとりの障害の種類や程度等に応じた適切な教育、支援について、様々な場面での情報交換や交流活動を行うために負担金を支出しました。</p> <p>【負担金支払先・負担金額】 青森県言語障害児教育研究会 (108,000円) 青森県特別支援教育研究会知的障害教育部会 (82,000円)</p> <p>【H22 校内の通常の学級や特別支援教育諸学校等と連携している学校数】 54校</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>小・中学校連携教育課程研究開発事業</p>	<p>9年間にわたり一貫性のある指導内容・方法の工夫・改善や教材開発等を行い、その成果を公開発表を通して全小・中学校に普及させることで、「確かな学力」と「豊かな人間性」のさらなる育成を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 研究指定校の成果等を共有する学校数(70校)</p>	<p>10月～11月にかけて、12校の研究指定校が、授業公開発表を実施しました。また、9年間にわたる一貫性のある教育活動をする上での工夫点等を3月に報告会で発表することを通して、全小・中学校に普及させました。</p> <p>【H22 研究指定校の成果等を共有する学校数】 70校</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>教育研修センター運営管理事務</p>	<p>個に応じた指導の充実や教員の資質向上のための研修の充実を図ります。また、障害のある児童生徒の教育的ニーズに対応した支援を行います。</p> <p>【H22 目標値】 利用件数(470件)</p>	<p>教育研修センターにおいて、教育関係団体等の研修、教職員に対する自主講座の開催、幼児児童生徒の教育相談適応指導、就学相談及び少年指導を実施しました。</p> <p>【H22 利用件数】 492件</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>

<p>教育研究所連盟事業 (負担金)</p>	<p>学校の抱える新たな教育課題に対応するために、研究調査の進展を図り、教育の改善に寄与するために、全国及び東北地区の教育研究機関が相互提携をします。</p> <p>【H22 目標値】 研修会出席者数(2人)</p>	<p>負担金を支出することで、教育研究所連盟が開催する研究協議会等に参加でき、会報等から情報を得て、本市の学校教育に反映しました。</p> <p>【負担金支払先・負担金額】 全国教育研究所連盟 (20,000円) 東北地区教育研究所連盟 (1,000円)</p> <p>【H22 研修会出席者数】 2人</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>全国教育研究所連盟 研究協議会参加事業</p>	<p>全国教育研究所連盟が開催する研究協議会に出席し、その成果等を本市の学校教育に反映させます。</p> <p>【H22 目標値】 研修講座等の数(89講座)</p>	<p>研究協議会で得た成果等を教育活動のための指導課教育活動推進会議(年19回)や研修講座(89講座)に反映し、本市の教職員の資質の向上を図りました。</p> <p>【H22 研修講座等の数】 87講座</p>	<p>B</p>	<p>指導課</p>
<p>教育展望セミナー参 加事業</p>	<p>教育展望セミナーに参加し、そこで得られた成果を本市の教育施策等に反映させます。</p> <p>【H22 目標値】 研修講座等の数(89講座)</p>	<p>主任指導主事等が本セミナーに参加し、最新の教育情報・理論等を研修し、その成果を指導課教育活動推進会議(年19回)や全小・中学校70校の学校訪問を通して、教職員に伝えることにより、本市の教職員の資質の向上を図りました。</p> <p>【H22 研修講座等の数】 87講座</p>	<p>B</p>	<p>指導課</p>
<p>後援等承認事務</p>	<p>後援承認等により、児童生徒の健全育成や教職員の資質向上に関する情報を得て、本市における個に応じた指導の充実や教員の資質向上のための研修への充実に反映させます。</p> <p>【H22 目標値】 後援名義等の承認件数(36件)</p>	<p>25の各種団体が主催する催し物等を支援し、教員の資質向上や児童生徒の健全育成を図りました。</p> <p>【H22 後援名義等の承認件数】 25件</p>	<p>B</p>	<p>指導課</p>

<p>教職員研修事業</p>	<p>個に応じた指導の充実や教員の資質向上のための研修の充実を図ります。また、障害のある児童生徒の教育的ニーズに対応した支援を行います。</p> <p>【H22 目標値】 受講者数(2,604人)</p>	<p>基本研修 31 講座(初任者研修、10 年経験者研修等) 職務別研修 14 講座(校長研修、教頭研修等) 専門研修 33 講座(教科・領域研修等) 特別研修 11 講座(確かな学力対策講座等) 合計 89 講座を実施しました。</p> <p>【H22 受講者数】 2,604 人</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>市町村指導主事研修事業</p>	<p>学校教育指導について共通理解を図るとともに、直面する諸問題について研究協議を行い、学校教育指導行政の効率化を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 青森市の指導主事等の参加延べ人数(22人)</p>	<p>他市の教育問題への取組状況等について、情報交換し、研究協議を行い、教員の資質向上や児童生徒の健全育成を図りました。</p> <p>第 1 回市町村指導主事研修協議会(青森市以外の市部で持回り開催)</p> <p>【開催日】8月20日(金) 【開催場所】むつ市 【参加者数】6人</p> <p>第 2 回市町村指導主事研修協議会(青森市)</p> <p>【開催日】1月21日(金) 【開催場所】青森市 【参加者数】16人</p> <p>【H22 青森市の指導主事等の参加延べ人数】 22人</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>教科書採択事業 (負担金)</p>	<p>義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に拠り、義務教育諸学校で使用する教科用図書(教科書)を小学校・中学校別に4年に1回、採択地区ごとに採択をします。</p> <p>【H22 目標値】 採択教科用図書種目数に対する採択率(100%)</p>	<p>平成23年度使用小学校用教科用図書を調査研究して、「東青地区教科用図書採択協議会」を構成する全市町村で種目ごと同一の教科用図書を採択しました。</p> <p>【H22 採択教科用図書種目数に対する採択率】 100%</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>

<p>小学校外国語活動実践研究事業</p>	<p>改訂された小学校学習指導要領の趣旨に沿った外国語活動を展開するために、その研究を推進する小学校を指定し、その成果を市内の小学校へ普及させます。</p> <p>【H22 目標値】 実践研究成果普及校数（49校）</p>	<p>研究推進指定校で実践研究発表を行い、多数の小学校教員が授業参観をし、研究協議会では授業づくりのあり方について理解を深めました。</p> <p>【研究推進指定校】堤小学校 【実践研究発表会】10月6日 「平成22年度小学校外国語活動実践研究事業研究収録」を作成し各小学校へ配付しました。</p> <p>また、研究成果は学校訪問で市内49校に紹介し、外国語活動の円滑な授業づくりに役立てました。</p> <p>【H22 実践研究成果普及校数】 49校</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
-----------------------	---	--	----------	------------

施策2	豊かな心を育む教育の推進	
施策の成果	生命を大切にし、感動する心や他人を思いやる心を持ち、自ら律することができる子どもが育成されます。	
関連事業（6事業）の内部点検評価結果	A：5件（83.3%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：1件（16.7%）	評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 特に「スクールカウンセラー配置事業」、「心豊かな読書活動推進事業」は、確実に各学校に浸透し、豊かな心づくりとして成果を上げている。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>豊かな心を育む教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> 豊かな心を育むため、集团的体験活動や読書活動等を含む活気ある学校生活の一層の充実を図る必要がある。 読書活動以外に感情表現を育むため、道徳等の時間において映画などの映像を鑑賞させる機会の充実を図ることも検討する必要がある。 <p>不登校児童生徒について</p> <ul style="list-style-type: none"> 不登校児童生徒の学校復帰については、今後とも学校や関係機関及び家庭との連携を密にしながら、各事業の更なる充実を図る必要がある。 不登校児童生徒の保護者への対応として、スクールカウンセラーによる一般教員の実践的指導力向上を図る研修会や講演等の機会の充実を図る必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的の達成状況を適切に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 各事務事業はスムーズに実施され成果を得ている。 問題行動の未然防止、早期発見、及び早期対応を支援すべく事業の充実が図られているが、今後、更なる児童生徒、保護者、教職員及び関係機関との連携が求められる。 校内の教育相談体制や教員の実践的指導力向上の観点からも、スクールカウンセラーの果たす役割は大きいことから、カウンセラーの増員も含め各校への配置や派遣、及び研修会のあり方など、より効果的な活用法を検討する必要がある。 携帯電話やインターネット上でのいじめが深刻化している現状を踏まえ、それらに対する取組を強化する必要がある。 		

(資料) 施策 2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
学校保健安全推進事業	生涯にわたって心身共に健康な生活ができるよう、健康・安全・環境等に関する意識を醸成します。 【H22 目標値】 学校保健安全推進業務委託校数 (2校)	学校保健安全推進業務委託校(浜田小・金沢小)が学校保健安全活動内容を、学校関係者、医療関係者、PTA等が参加する青森市学校保健研究大会で発表し、大会内容を研究集録として刊行した。 【H22 学校保健安全推進業務委託校数】 2校	A	学務課
学校保健会運営事業	青森市における学校保健活動及び学校安全の充実のため、青森市学校保健会に負担金を支出します。 【H22 目標値】 青森市児童生徒保健安全自由研究発表会開催数(1回)	青森市学校保健研究大会の開催(11月) 【H22 青森市児童生徒保健安全自由研究発表会開催数】 1回	A	学務課
教育相談適応指導事業	不登校等の問題を抱える保護者、教職員、幼児児童生徒を対象に教育相談を行うとともに、学校復帰を目的とする集団生活への適応指導や学習指導、生活体験事業等を行い、学校復帰、社会参加、自立を促します。 【H22 目標値】 学校に復帰した児童生徒数 (21人)	教育相談員(6名)や臨床心理士(2名)が、不登校などの問題を抱える児童生徒等に対し、延べ2,679件にのぼる教育相談や適応指導を通して学校復帰、社会参加、自立を促し、豊かな心の育成を図りました。 「学校に復帰した児童生徒数」 ・H21 19人/33人 ・H22 10人/21人 【H22 学校に復帰した児童生徒数】 10人	D	指導課

<p>スクールカウンセラー配置事業</p>	<p>スクールカウンセラーを派遣したり、活用会議でスクールカウンセラー配置校間での活用の成果を情報交換しながら、保護者、児童生徒、教職員の悩みを軽減し、また、教職員の教育相談の技能を向上させます。</p> <p>【H22 目標値】 学校での講話・実技研修実施回数（30回）</p>	<p>スクールカウンセラー（10名）による教育相談を通して、児童生徒・保護者の不安軽減、実技研修を通しての教員の教育相談に関する技能の向上、児童生徒の人間性、社会性の育成を図りました。</p> <p>【講話・実技研修実施回数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校 16回 ・中学校 21回 <p>【H22 学校での講話・実技研修実施回数】 37回</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>心豊かな子ども読書活動推進事業</p>	<p>児童生徒に対し読書の働きかけをしたり読書の機会を設定したりすることにより、児童生徒が学校生活の中で読書を楽しみ、親しむ場を増やします。</p> <p>【H22 目標値】 公立小・中学校の参加率（100%）</p>	<p>学校図書館等の良書に触れ、読書感想文等に取り組む機会をつくったり、児童生徒が読書に親しむ機会を広げ（作品応募校数全小・中学校70校）作品集（200冊）や読書活動推進だより（1,000部×3回）を作成配付したりするなど、学校の枠を超えた読書活動の推進を図りました。</p> <p>【H22 公立小・中学校の参加率】 100%</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>
<p>問題を抱える子ども等の自立支援事業</p>	<p>児童生徒や保護者、教職員等の悩みやストレスを和らげることができ教育相談員を小学校に派遣し、相談活動及び適応指導教室等とのネットワークを活用して、児童生徒が学校生活に適應できるよう援助します。</p> <p>【H22 目標値】 派遣回数（34回）</p>	<p>教育相談員（4名 小学校8校に派遣）による相談活動や関係団体との連携を充実し、不登校児童生徒が学校生活に適應できるよう環境を整備しました。</p> <p>【H22 派遣回数】 36回</p>	<p>A</p>	<p>指導課</p>

施策3	特色ある教育の充実		
施策の成果	子どもたち一人ひとりが個性を活かし、その能力が十分に伸ばされます。		
関連事業（2事業）の内部点検評価結果	A：0件（0%） B：1件（50.0%） C：0件（0%） D：1件（50.0%）		評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 今後さらに外国語指導助手（ALT）の増員を図り、資質向上もさることながら、必修になった小学校はもちろん、中学校への訪問機会を充実させ、児童生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の向上が図られていくことが期待される。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>国際交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> 外国語学習の推進において、今後さらに外国語指導助手（ALT）の増員を図り、小・中学校への訪問機会を充実させ、児童生徒の英語による実践的コミュニケーション能力の向上を図るなど、英語力を向上させるための学習方法に工夫を加えることが必要である。 国際理解の推進において、本市の国際交流員（CIR）の活用の機会を増やすとともに、市内大学等との連携を図りながら留学生等を活用するなど、異文化理解を深める必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際交流及び外国青年招致は、国際理解や外国語の学習に果たす役割は大きく、グローバルな経済社会で活躍する人材育成への対応の第一歩となるので更なる充実を期待する。 			

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
国際交流員設置事業	<p>各学校に国際交流員を派遣し、児童が直接交流することで、外国の生活や文化などを体験したり、多様な考え方や価値観があることを実感する機会を持たせます。</p> <p>【H22 目標値】 学校訪問回数（135回）</p>	<p>国際交流員が小学校へ訪問して、児童の異文化理解を促進したり、外国語に慣れ親しむよう支援しました。</p> <p>【国際交流員数】1名 【訪問学校数】小学校13校 【H22 学校訪問回数】 132回</p>	D	指導課

<p>外国青年（語学指導員）招致事業</p>	<p>外国青年と日本人教員の共同授業等における英会話等の指導を通して、小・中学生が、英語による実践的なコミュニケーション能力が高まるとともに、日本人教員の英語力や指導力の向上を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 学校訪問回数（1,058 回）</p>	<p>外国青年（語学指導員）が全小・中学校で日本人教員と共同授業を行い、児童生徒と直接交流することを通し、一人ひとりの異文化理解を促進し、外国語への親しみや英語による実践的コミュニケーション能力向上を図りました。</p> <p>【外国青年数】6名 【訪問学校数】全小・中学校 【H22 学校訪問回数】 1,046 回</p>	<p>B</p>	<p>指導課</p>
------------------------	--	--	----------	------------

施策4	教育環境の充実	
施策の成果	児童生徒がより良い環境の中で、楽しく、充実した教育を受けることができます。	
関連事業（32事業）の内部点検評価結果（平成22年度の目標値未設定事業3件） A：29件（90.6%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：3件（9.4%）	評価	
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 小・中耐震診断改修・改築事業については、東日本大震災の経験を活かし引き続き児童生徒の安全な教育環境を第一に考え施設の耐震化を図っていく必要がある。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>学校施設耐震化について 学校施設の耐震化対策は、計画的に施設の耐震化を図っていく必要がある。</p> <p>学校給食について 給食運営事業については、衛生管理の徹底を図るほか、使用する食材の更なる安全性の強化を図り、安全で安心な給食を提供する必要がある。</p> <p>また、学校給食の食べ残しを減らすため、献立を工夫するとともに引き続き給食内容の食材を紹介するなど、食育に関する関心を持たせながら食の重要性を認識させる必要がある。</p>		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 限られた予算の中で、緊急性・重要性を考慮しながら、各事業が着実に進められている。 学校施設の耐震診断・改修事業については順調に推進されているが、児童生徒の生命にかかわる事業であり、災害発生時には地域住民の避難場所ともなることから早急に完結する必要がある。 給食運営事業は、施設・設備の維持管理や衛生管理に十分留意し、食育の更なる充実を図る必要がある。 		

（資料）施策4 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
小学校運営管理事務	小学校の学習環境の向上を図るため、学校配当予算などの運営管理に必要な経費を管理します。 【H22 目標値】 実施率（100%）	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。 【H22 実施率】 100%	A	総務課
小学校教材整備事業	小学校の学習環境の向上を図るため、学校配当予算などの教材整備に必要な経費を管理します。 【H22 目標値】 実施率（100%）	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。 【H22 実施率】 100%	A	総務課

中学校運営管理事務	中学校の学習環境の向上を図るため、学校配当予算などの運営管理に必要な経費を管理します。 【H22 目標値】 実施率(100%)	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。 【H22 実施率】 100%	A	総務課
中学校教材整備事業	中学校の学習環境の向上を図るため、学校配当予算などの教材整備に必要な経費を管理します。 【H22 目標値】 実施率(100%)	各学校の規模に応じた予算を配当し、校長の管理下で適正に予算を執行しました。 【H22 実施率】 100%	A	総務課
小学校改築等移転事務	小学校の改築及び統廃合に伴う教育環境の向上を図るため、物品等の整備などを行います。 【H22 目標値】 実施率(100%)	孫内小、戸門小、鶴ヶ坂小の図書及び備品の移動・廃棄を行いました。 【H22 実施率】 100%	A	総務課
中学校改築等移転事務	中学校の改築及び統廃合に伴う教育環境の向上を図るため、物品等の整備などを行います。 【H22 目標値】 実施率(100%)	新城中学校の旧運動場の備品の移動・廃棄、また、新運動場の備品等の整備を行いました。 【H22 実施率】 100%	A	総務課
通学区域再編事務	適正な学校規模の確保と児童生徒のよりよい教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 適正な学校規模の小・中学校の割合 (63%)	複式学級を有する小学校や全年単学級となっている中学校を通学区域再編の最優先校とし、地域の皆様との話し合いを継続して行ったほか、統合予定校の事前交流を行いました。 【平成22年度実績】 ・金浜小学校と荒川小学校を統合しました。 【H22 適正な学校規模の小・中学校の割合】 63%	A	学務課
児童生徒保健衛生管理事業	児童生徒、教職員の健康状態を把握し、疾病の悪化を防ぐとともに円滑な学校教育の実施を図ります。 【H22 目標値】 児童生徒定期健康診断受診率 (98%)	【結核検診精密検査人数】 19人 【心臓検診精密検査人数】 144人 【腎臓検診精密検査人数】 131人 【H22 児童生徒定期健康診断受診率】 99%	A	学務課

学校環境衛生管理事業	学校環境衛生を良好にし、健康で快適な学習環境を提供します。 【H22 目標値】 学校環境検査実施率（100%）	害虫等の駆除、プールの水質検査、室内空気中化学物質検査、及びダニ・アレルゲン検査を実施しました。 【H22 学校環境検査実施率】 100%	A	学務課
学校災害共済給付及び災害賠償補償関係事務	日本スポーツ振興センター災害共済加入者が学校管理下において発生した怪我等について、必要な手続きを行います。 【H22 目標値】 適正処理率（100%）	【災害共済給付件数】 ・小学校 1,077 件 ・中学校 1,410 件 計 2,487 件 【H22 適正処理率】 100%	A	学務課
小回り修繕事業	小・中学校施設の維持修繕を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 営繕要望対応率（%）	小回り修繕班が学校を訪問し小規模修繕を実施しました。 ・小学校 49 校 ・中学校 21 校 【H22 営繕要望対応率】 54%	-	学務課 （総務課）
新城小学校校舎等改築事業	新城小学校は、昭和40年度に建設され、老朽化が著しいことから、平成14年度に耐力度調査を行ったところ、校舎及び屋内運動場の耐力度が低いことから、改築事業を順次実施します。 【H22 目標値】 進捗率（100%）	新城小学校の屋外体育施設が完成し事業を終了しました。 【完成月日】4月28日 【供用開始日】5月11日 【H22 進捗率】 100%	A	学務課 （総務課）
新城中学校校舎等改築事業	新城中学校は昭和43年度に建設され、老朽化が著しく、また、同規模の中学校に比較して、特別教室が不足しているなど、狭隘な教育環境となっています。従ってより良い教育環境の整備・充実を図るため、改築事業を順次実施します。 【H22 目標値】 進捗率（100%）	新城中学校の屋外体育施設が完成し事業を終了しました。 【完成月日】12月13日 【供用開始日】12月21日 【H22 進捗率】 100%	A	学務課 （総務課）
小学校耐震診断・改築事業	建築基準法の改正により、学校施設の耐震性改善が求められていることから、年次計画により整備します。 【H22 目標値】 耐震化率（82%）	平成22年度は、耐震化が必要とされる学校のうち13校の耐震化を完了しました。 【H22 耐震化率】 82%	A	学務課 （総務課）

学校施設調査等事務	小・中学校の図面等の書類整備及び建物の現状調査を行うことにより適正な教育環境整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	小学校49校、中学校21校の施設台帳等の整備を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課 （総務課）
中学校耐震診断・改修事業	建築基準法の改正により、学校施設の耐震性改善が求められていることから、年次計画により整備します。 【H22 目標値】 耐震化率（86%）	平成22年度は、耐震化が必要とされる学校のうち6校の耐震化を完了しました。 【H22 耐震化率】 86%	A	学務課 （総務課）
学校医等嘱託事業	学校における保健・安全に資するため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を配置します。 【H22 目標値】 学校医等配置割合（100%）	【配置状況】 ・学校医 231人 （小158人・中73人） ・学校歯科医 71人 （小49人・中22人） ・学校薬剤師 70人 （小49人・中21人） 【H22 学校医等配置割合】 100%	A	学務課
スクールバス運営事業	遠距離通学をしている児童生徒が通学に使用できる路線バスがない場合など、必要に応じてスクールバス等を運行し、児童生徒の通学手段を確保し、交通費の保護者負担の軽減を図ります。 【H22 目標値】 スクールバス等を利用する児童生徒が通学途中に事件事故にあった人数（0人）	【スクールバス実施校】 小学校：東陽小学校・新城中央小学校・荒川小学校 中学校：浅虫中学校・新城中学校・荒川中学校 【タクシー送迎校】 小学校：野沢小学校 【H22 スクールバス等を利用する児童生徒が通学途中に事件事故にあった人数】 0人	A	学務課
小学校清掃・除雪等委託事業	小学校校地内除雪等を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	青森地区小学校42校（古川小学校は古川市民センターで実施）の校地内除雪作業及び屋根の雪下ろし等の作業を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課

中学校清掃・除雪等委託事業	中学校校地内除雪等を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	青森地区中学校 20 校の校地内除雪作業及び屋根の雪下ろし等の作業を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課
学校プール管理事業	学校プール施設の維持管理等を行い、水泳授業の環境整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	小学校 2 2 校、中学校 3 校の学校プールの維持管理及び戸山西小学校屋内プールの施設開放を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課 （総務課）
小学校維持管理事業	小学校施設の保守点検等を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	小学校 4 9 校について、施設の保守点検、機械警備等の維持管理を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課 （総務課）
中学校維持管理事業	中学校施設の保守点検等を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	中学校 2 1 校について、施設の保守点検、機械警備等の維持管理を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課 （総務課）
小学校維持修繕事業	小学校施設の維持修繕を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 営繕要望対応率（- %）	小学校施設の維持修繕 137 件を実施しました。 【H22 営繕要望対応率】 44%	-	学務課 （総務課）
中学校維持修繕事業	中学校施設の維持修繕を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 営繕要望対応率（- %）	中学校施設の維持修繕 42 件を実施しました。 【H22 営繕要望対応率】 40%	-	学務課 （総務課）
小学校施設整備事業	小学校施設の整備を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	泉川小学校の受水槽取替工事を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課 （総務課）
中学校施設整備事業	中学校施設の整備を行い、教育環境の整備を図ります。 【H22 目標値】 実施率（100%）	浅虫中学校の公共下水道切替工事を実施しました。 【H22 実施率】 100%	A	学務課 （総務課）

給食運営事業 (小学校)	安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューに取り入れながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。 【H22 目標値】 給食実施率(100%)	施設・設備の衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食を全児童及び教職員に年間を通して提供しました。 【給食対象児童数】16,328人 【教職員等数】1,204人 【H22 給食実施率】 100%	A	学校給食課
給食運営事業 (中学校)	安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューに取り入れながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。 【H22 目標値】 給食実施率(100%)	施設・設備の衛生管理を徹底し、安全でおいしい給食を全生徒及び教職員に年間を通して提供しました。 【給食対象生徒数】8,386人 【教職員等数】658人 【H22 給食実施率】 98%	D	学校給食課
給食施設維持管理事業 (小学校)	学校給食に係る施設・設備の適切な維持管理や衛生管理、学校給食関係職員・調理員等への研修、学校給食に関する業務の総合的な管理等を通して、児童の健康と健全な発達を目指します。 【H22 目標値】 給食実施率(100%)	学校給食施設・設備の維持管理や衛生管理、学校給食に関する総合的な事務・事業を実施しました。 管理施設 ・西部学校給食共同調理場 ・中央部学校給食共同調理場 ・浪岡学校給食センター ・単独校調理場 13校 【H22 給食実施率】 100%	A	学校給食課
給食施設維持管理事業 (中学校)	学校給食に係る施設・設備の適切な維持管理や衛生管理、学校給食関係職員・調理員等への研修、学校給食に関する業務の総合的な管理等を通して、生徒の健康と健全な発達を目指します。 【H22 目標値】 給食実施率(100%)	学校給食施設・設備の維持管理や衛生管理、学校給食に関する総合的な事務・事業を実施しました。 管理施設 ・中学校給食センター 【H22 給食実施率】 98%	D	学校給食課

<p>小学校給食改善・充実対策事業 (負担金)</p>	<p>安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューに取り入れながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。</p> <p>【H22 目標値】 給食実施率(100%)</p>	<p>学校給食センターの相互の連絡連携と学校給食管理運営について調査研究し、学校給食の改善充実を図るために、青森県学校栄養士協議会負担金及び青森県学校給食センター連絡協議会負担金を負担しました。</p> <p>青森県学校栄養士協議会 ・西部学校給食共同調理場 4,500 円 ・中央部学校給食共同調理場 4,500 円 ・浪岡学校給食センター 4,500 円 ・単独校7校分 31,500 円 青森県学校給食センター連絡協議会 ・西部学校給食共同調理場 8,000 円</p> <p>【H22 給食実施率】 100%</p>	<p>A</p>	<p>学校給食課</p>
<p>中学校給食改善・充実対策事業 (負担金)</p>	<p>安全・衛生面に配慮し、郷土食や行事食をメニューに取り入れながら、栄養のバランスのとれた食事を継続的に提供します。</p> <p>【H22 目標値】 給食実施率(100%)</p>	<p>学校給食センターの相互の連絡連携と学校給食管理運営について調査研究し、学校給食の改善充実を図るために、青森県学校栄養士協議会負担金及び青森県学校給食センター連絡協議会負担金を負担しました。</p> <p>青森県学校栄養士協議会 ・中学校給食センター 4,500 円 青森県学校給食センター連絡協議会 ・中学校給食センター 8,000 円</p> <p>【H22 給食実施率】 98%</p>	<p>D</p>	<p>学校給食課</p>

<p>情報処理機器運営管理事業</p>	<p>児童生徒の情報処理能力向上や調べ学習の充実等に活用するため、パソコン室に整備したパソコン等の適正な管理を行います。</p> <p>【H22 目標値】 実施率（100%）</p>	<p>各学校のパソコン室に整備したパソコン等の適正な管理を行いました。</p> <p>【H22 実施率】 100%</p>	<p>A</p>	<p>総務課 （指導課よりH22年度から移管）</p>
<p>情報処理機器借上事業</p>	<p>児童生徒の情報処理能力向上や調べ学習の充実等に活用するため、パソコン室にパソコン等の整備を行います。</p> <p>【H22 目標値】 整備率（100%）</p>	<p>各学校のパソコン室にリース継続によりパソコン等を整備しました。</p> <p>【H22 整備率】 100%</p>	<p>A</p>	<p>総務課 （指導課よりH22年度から移管）</p>

施策5	就学支援の充実	
施策の成果	すべての児童生徒が平等に教育機会を得られます。	
関連事業（7事業）の内部点検評価結果	A：7件（100.0%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：0件（0%）	評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 ・特に就学援助事業については、経済的理由により就学困難と認められた児童生徒の保護者が増加している中、平成23年度より貸与対象者の拡大等制度の改善を図るなど適切に対応している。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>就学援助事業について</p> <p>貸与対象者の増加に伴い、市の財政負担も増加しているものの、児童生徒の多様な進路選択の機会の確保等の観点から、引き続き取り組む必要がある。</p> <p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な形での就学支援事業が果たす役割は大きく、適切に実施されている。 		

（資料）施策5 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
校外学習支援事業	校外学習に係る交通費（バス代）の保護者負担を軽減します。 【H22 目標値】 利用率（100%）	・校外学習バス借上校数 43校 ・校外学習バス借上総台数 74台 校外学習バス借上は青森地区のみ実施 ・体育デーバス借上台数 60台 【H22 利用率】 100%	A	学務課
児童生徒医療扶助事業	学校病に罹患した要保護・準要保護世帯の児童生徒に医療費を援助し、学習に支障をきたさないようにします。 【H22 目標値】 申請数に対する援助割合(100%)	【医療費援助延べ件数】 1,657件 【H22 申請数に対する援助割合】 100%	A	学務課
就学援助事業	必要な援助を行い、保護者の負担軽減を図り、義務教育を円滑に受けられる状態にします。 【H22 目標値】 総児童生徒数に対する経済的理由による長期欠席者を除く児童生徒の割合（100%）	【支給対象者】 5,752人 【就学援助支給額（総額）】 242,989,000円 【H22 総児童生徒数に対する経済的理由による長期欠席者を除く児童生徒の割合】 100%	A	学務課

特別支援教育奨励費事業	特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的な負担軽減を図ります。 【H22 目標値】 総児童生徒数に対する経済的理由による長期欠席者を除く児童生徒の割合（100%）	【支給対象者】 137人 【支給額（総額）】 2,964,000円 【H22 総児童生徒数に対する経済的理由による長期欠席者を除く児童生徒の割合】 100%	A	学務課
奨学資金貸付事業	本市出身の優秀な生徒・学生のうち、経済的理由により修学が困難な生徒・学生を支援し、将来の青森市にとって有能な人材育成を図ります。 【H22 目標値】 要支援者に対する貸与率(100%)	本市出身の優秀な学生・生徒のうち、経済的理由により修学が困難な生徒・学生に、奨学資金を貸与しました。 【貸与者数】 74人 【H22 要支援者に対する貸与率】 100%	A	学務課
新入学児童学用品支給事業	新入学児童の保護者負担を軽減します。 【H22 目標値】 学用品の交付率（100%）	【新入学児童支給者数】 2,509人 【H22 学用品の交付率】 100%	A	学務課
給食扶助事業	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して給食費の援助を行うことにより、安全かつ衛生的で、栄養バランスのとれた給食を提供します。 【H22 目標値】 総児童生徒数に対する経済的理由による長期欠席者を除く児童生徒の割合（100%）	経済的理由により就学困難と認められる児童生徒の保護者に対して給食費の援助を行いました。 【対象児童生徒数】 ・準要保護児童生徒（生活保護に準ずる世帯の児童生徒） 5,538人 ・特別支援児童生徒（知的・情緒・難聴障害、病弱等特別支援学級の児童生徒） 129人 【H22 総児童生徒数に対する経済的理由による長期欠席者を除く児童生徒の割合】 100%	A	学校給食課

施策6	学校・家庭・地域の協働による教育力の向上	
施策の成果	青少年の健全な育成が図られます。	
関連事業（18事業）の内部点検評価結果		評価
A：10件（55.6%） B：2件（11.1%） C：2件（11.1%） D：4件（22.2%）		
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業の目標達成割合が「A」評価、「B」評価が6割以上となっており概ね良好である。 ・青少年の健全育成を目指した様々な事業が行われ成果を上げている。 ・地域を巻き込んだ、より広域にわたる事業が多く、活動の中核をなすリーダーの実践力や指導力がその成果に大きく影響することから、リーダーがやりがいを持てるように学習の機会を設定するなど、要望等に積極的に応えるなど、信頼関係を大切に活動を推進するとともに、より効率を上げるため、担当課間の調整や県及び関係機関との連携を強化し、官民一体となった更なる事業の充実が望まれる。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>家庭教育学級について</p> <p>各小・中学校で保護者や地域住民を対象に実施している家庭教育学級運営事業をより推進し、家庭での教育力を高めるとともに学校と家庭の連携を深める必要がある。</p> <p>子ども会の指導者育成について</p> <p>子ども会を指導するリーダーの育成は重要であることから、ボランティアや指導者の育成と、その環境づくりを進める必要がある。</p> <p>少年指導について</p> <p>少年指導・育成には、今後、若い指導員、及びリーダーの育成を図る必要がある。</p> <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに実施されている。今後も継続して更に充実した内容にして欲しい。 ・ネット社会への適応は重要であり、指導者、保護者、地域が連携して適正に使用できる人材育成に努めて欲しい。 ・青少年の健全育成を目指した様々な事業が行われ、成果を上げている。関係機関との連携を強化し、官民一体となった活動の更なる充実を図って欲しい。 		

(資料) 施策 6 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
家庭教育学級運営事業	<p>家庭及び地域の教育力向上を目指し、保護者が子どもに対するしつけや教育の心構え等を理解し、子育て上の悩みを解消するため、保護者や地域住民に家庭教育等についての学習機会を提供します。</p> <p>【H22 目標値】 講座内容の満足度 (93%)</p>	<p>【学級数】 小学校 46 学級 中学校 19 学級 計 65 学級</p> <p>【講座実施回数】 計 194 回</p> <p>【参加者数】 小学校 5,846 人 中学校 3,917 人 計 9,763 人</p> <p>【H22 講座内容の満足度】 99%</p>	A	社会教育課
うとう家庭教育学級運営事業	<p>知的障害児(者)や発達障害児を持つ家庭における様々な課題を解決するため、保護者に課題解消に向けた学習機会を提供します。</p> <p>【H22 目標値】 学級生徒数 (120 人)</p>	<p>第 1 回講座 「発達障害の理解と支援」</p> <p>第 2 回施設見学 「中央児童相談所」</p> <p>第 3 回講座 「子どもの健康・食事」</p> <p>第 4 回親子レクリエーション 「ゴミ袋で変身しよう! ~野外ステージファッションショー~」</p> <p>第 5 回講座 「発達障害児と家庭教育」</p> <p>第 6 回講座 「身近に起こる問題をみんなで語り合おう」</p> <p>第 7 回ピアカウンセリング 「仲間とともに悩みを解放しよう」</p> <p>【H22 学級生徒数】 137 人</p>	A	社会教育課

<p>大井基金活用事業 (ものづくり・サイエンス体験事業)</p>	<p>科学への興味・関心を高めるとともに、科学的なものの見方・考え方や、豊かな感性・創造力を育むため、「ものづくり・サイエンス教室」を実施します。 【H22 目標値】 参加者数(540人)</p>	<p>平成22年7月31日 8月1日開催(青森地区) ・ものづくり参加者数:294人 ・サイエンス教室参加者数: 122人 平成22年8月6日開催(浪岡地区) ・ものづくり参加者数:57人 ・サイエンス教室参加者数: 77人 【H22 参加者数】 550人</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>青森市子ども会育成振興事業 (補助金)</p>	<p>子ども会育成者(指導者)の指導力向上や情報交換の場を創設するとともに、学年の異なる子どもたちも一緒に活動できる機会の充実を図るため、子ども会の連合組織である青森市子ども会育成連絡協議会に補助金を交付します。 【H22 目標値】 子ども会加入率(22%)</p>	<p>【会員数】 3,454人 【子ども会数】 70単会 【青森市子ども会育成連絡協議会の事業概要】 初級・中級リーダー研修 各種交流スポーツ大会 青函子ども交流 等 【補助金交付先・交付額】 青森市子ども会育成連絡協議会 (728,000円) 【H22 子ども会加入率】 16%</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
<p>命を大切にすることを育む県民運動事業</p>	<p>青森県の次代を担う子どもたちが、命を大切に、他人への思いやりをもち、たくましく健やかに生きていくように育てていくため、県民運動推進会議会員として参加します。 【H22 目標値】 声かけ運動参加者数(8,000人)</p>	<p>【声かけリーダー数】 57名 【H22 声かけ運動参加者数】 延べ6,142人</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
<p>成人式開催事業</p>	<p>新成人自らが大人としての自覚、社会の一員、特に、青森市民としての認識を深め、郷土と自分を見つめ直す1つの契機とするため、成人式を開催します。 【H22 目標値】 成人式出席率(75%)</p>	<p>【開催日】平成23年1月9日 【開催場所】文化会館・中世の館 【対象者】 平成22年4月2日~ 平成23年4月1日生まれの 2,679人 (男1,305人、女1,374人) 【出席者】2,054人 【H22 成人式出席率】 77%</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課 教育課</p>

<p>青少年育成青森市民 会議運営事業 (補助金)</p>	<p>本市の将来を担う青少年を健全に育てるために、青森市青少年育成市民会議会員となっている各関係団体等が各種事業を展開することで、官民一体となつての青少年の健全育成を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 青少年育成青森市民会議会員数(400人)</p>	<p>青少年健全育成チラシ作成・配布(7月)</p> <p>【対象】小・中学生、町(内)会、会員</p> <p>危険箇所看板作成配置(7月)</p> <p>【実績】2校、10枚</p> <p>青森市青少年育成市民大会開催(11月)</p> <p>【参加者数】86名</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森市青少年育成市民会議(174,000円)</p> <p>【H22 青少年育成青森市民会議会員数】 316人</p>	<p>B</p>	<p>社会教育課</p>
<p>学校支援地域本部事業</p>	<p>学校・家庭・地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えるため、「学校支援地域本部」を設置し、その下で地域住民が学校支援ボランティアとして学校教育活動の支援を行います。</p> <p>【H22 目標値】 ボランティアの活動日数(延べ)(1,800日)</p>	<p>【平成22年度事業】 地区内の学校へ学校支援地域本部事業実施に係る普及啓発、広報活動を実施しました。</p> <p>学校支援ボランティア募集に係る広報活動を実施しました。</p> <p>学校支援活動の実施・学習支援活動を実施しました。</p> <p>事業成果報告会を実施しました。</p> <p>【H22 ボランティアの活動日数(延べ)】 11,026日</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>旧県青年の家利活用 検討事業</p>	<p>平成18年3月で廃止となった、旧県青年の家の利活用方法について検討するため、「旧県青年の家利活用検討委員会」を設置します。</p> <p>【H22 目標値】 会議開催回数(5回)</p>	<p>「旧県青年の家利活用検討委員会」を平成22年7月に設置しました。</p> <p>【委員数】 一般公募2名を含む11名</p> <p>【会議開催回数】 5回(10月に報告書の提出あり)</p> <p>【H22 会議開催回数】 5回</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>

学校施設開放事業	地域住民が、学校の教育活動に支障のない範囲で、土日等の休日も含め、小・中学校の施設を借りてコミュニティ活動を行うことができるよう学校施設を開放します。 【H22 目標値】 総利用者数(232,700人)	【学校施設開放実施校】 小学校49校、中学校21校 【登録団体数】 343団体 【H22 総利用者数】 196,691人	C	社会教育課
心のふれ合い運動推進事業	教職員、保護者、地域住民が連携して学区内の巡回を行うことによって、児童生徒の非行防止と安全な地域づくりにつなげます。 【H22 目標値】 巡回指導実施率(100%)	教職員、保護者、地域住民が連携して、学区内を主とした巡回指導を実施し、児童生徒の非行防止と安全な地域づくりを目指す意識を高めました。 【H22 巡回指導実施率】 100%	A	指導課
学校支援協議会事務	関係機関との通報・連絡体制を整備するとともに、声かけに対する対応訓練を通じて変質者・不審者等の被害を未然に防止します。 【H22 目標値】 防犯訓練を実施した学校の割合(100%)	市内70校の小・中学校に対して、不審者対応の訓練等の助言・指導を行い、対処法や適切な不審者情報発信の仕方、未然防止策等を周知しました。 【H22 防犯訓練を実施した学校の割合】 100%	A	指導課
少年指導・育成事業	毎月20回前後街頭指導を実施し、不良行為少年等を早期発見し、声かけや相談により、非行の入口にいる少年達を更生させ、又は非行化に歯止めをかけます。 【H22 目標値】 街頭指導活動回数(252回)	午前、午後、夜間等、年間251回の街頭指導を行い、延べ820人の少年指導委員による巡回指導、声かけ、相談活動等を行ってきました。 【H22 街頭指導活動回数】 251回	B	指導課
安全対策事業	交通安全指導時の事故やけが等により障害を被った場合、その補償のための保険に加入します。 【H22 目標値】 交通安全誘導ボランティアの人数(240人)	地域ぐるみで子どもの生命・安全を守るため、218人の交通安全ボランティアの方々が、安心して活動できるように保険を掛けました。 【H22 交通安全誘導ボランティアの人数】 218人	C	指導課

小・中学校安全・安心対策事業	子どもたちがパソコンや携帯電話により、どのようにインターネットを利用しているか実態把握に努め、インターネット上の書き込み等を監視します。 【H22 目標値】 啓発活動実施回数(36回)	学校現場において、教職員が子どもたちや保護者等に対して、情報モラルの向上をねらいとした啓発活動が円滑に行えるように、出前講座を行いました。小・中学校36校の教職員に対して、子どもたちのインターネット利用における現状の情報提供と、トラブル等の対処法の指導・助言を行いました。 【H22 啓発活動実施回数】 36回	A	指導課
宿泊体験学習事業	浪岡中学校1学年の生徒が、自然の中での宿泊体験を通して、生徒相互及び教師との信頼関係や社会性の醸成を図ります。 【H22 目標値】 事業への生徒の参加率(98%)	2泊3日の日程で各種の体験事業(レクリエーション、野外炊飯、テント宿泊、キャンプファイヤー、創作活動、清掃活動など)を実施しました。 【H22 事業への生徒の参加率】 98%	A	教育課
養魚場運営管理事業	青少年の体験学習と内水面漁業の振興普及を図ります。 【H22 目標値】 来場者数(850人)	浪岡細野渓流魚増殖実習場の管理業務を適正に実施しました。 【H22 来場者数】 455人	D	教育課
養魚場活動事業	渓流魚の加工技術の学習を通して、市民の内水面の知識について理解を深めます。 【H22 目標値】 参加者数(20人)	渓流魚の「燻製づくり講座」などの事業を実施しました。 燻製づくり講座 【H22 参加者数】 17人	D	教育課

政策第2節：生活と地域を豊かにする生涯学習

施策1	生涯学習活動の充実
施策の成果	学習を通して知識・技能や知恵を習得することにより、心豊かな人間性を育むとともに、その成果を地域社会に活かすことによって、地域が活性化されます。
関連事業（11事業）の内部点検評価結果	
A：4件（36.4％） B：1件（9.1％） C：0件（0％） D：6件（54.5％）	
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読書活動推進事業」や「生涯学習支援事業」など成果を上げている事業もあるが課題も多い。 ・今後は、社会教育活動、生涯学習活動の目的の再確認、内容の充実という視点から事業を形成していく必要がある。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>生涯学習活動について</p> <p>生涯学習支援事業は生涯学習に対する市民ニーズの高まりや多様化に対応するため、利用者のニーズを反映した魅力ある事業の展開を検討する必要がある。</p> <p>女性・高齢者教育について</p> <p>青森市女性大学・女性大学院は参加者が減少していることから、寿大学との統合についても検討する必要がある。</p> <p>こどもチャレンジクラブについて</p> <p>こどもチャレンジクラブは、山の家活動事業等、既存の事業を活用した「月毎メニュー方式」で実施するなど、活動内容を検討する必要がある。</p> <p>淡谷文庫について</p> <p>淡谷文庫については、少しでも多くの図書資料を市民に活用していただくための環境づくりを検討する必要がある。</p> <p>教育メディアの利用について</p> <p>「教育メディア利用促進事業」は、促進という役割を終了していると考えられることから事業の再検証が必要である。</p> <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 <p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「教育メディア利用促進事業」の16ミリ映写機の講習会については、現在のニーズに合致しているのかわかりかねるため再度検証してみる必要がある。 ・様々な事業を実施し、生涯学習の機会を提供するとともに、市民が主体的に行う活動を支援し、成果も上げているが課題も多いようである。予算も限られている中で、利用者のニーズをくみ取り、工夫し、魅力ある講座内容の充実を図る必要がある。 	
	評価

(資料) 施策 1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
生涯学習支援事業 (中央市民センター)	青森市中央市民センターにおいて、生涯学習に対する市民ニーズの高まりや多様化に対応するため、いつでも、どこでも、だれもが学び・活動・発表できる場の設定や情報を提供し、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。 【H22 目標値】 各種講座参加者数(28,349人)	【実施事業】 こどもチャレンジクラブ ねぶた絵コンクール/アイディア工作・未来の夢絵画展 青森市寿大学・寿大学院 / 青森市女性大学・女性大学院 公開講座(寿大学等の授業の一部を、市民スクールで一般募集し受講できる講座) 青年教室(みちのく・はまなす) 市民スクール(青少年～高齢者まで) センターまつり チャレンジパソコン講座(一般対象) 他 【H22 各種講座参加者数】 27,343人	D	中央市民センター
プラネタリウム運営事業	市内で数少ない科学施設の1つとして天文・宇宙分野を通して、科学に関する知識や科学的視点を育む機会を提供するため、円滑で効率的な運営をします。 【H22 目標値】 利用者数(10,180人)	【投影番組】 幼児向け番組(プラネくんと星空さんぼ) 一般向け番組(星空の時間) 理科学習番組(小・中学校の校外学習等の団体向け) 幼児団体向け番組(たなばたアワー、お月見アワー) 団体向け番組(修学旅行等の団体向け) 【H22 利用者数】 7,959人	D	中央市民センター
教育メディア利用促進事業	学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、視聴覚機材・教材(16ミリフィルム・ビデオ等)並びに機材操作に必要な技術を習得できる環境を整備し、市民の生涯学習を支援します。 【H22 目標値】 視聴覚教材・教具の貸出件数(674件)	【視聴覚教材・機材貸出件数】 618件 【16ミリ映写機操作技術講習会開催回数】1回 【こども映画劇場開催回数】 13回 【H22 視聴覚教材・教具の貸出件数】 618件	D	中央市民センター

<p>少年少女発明クラブ 支援事業（補助金）</p>	<p>より多くの少年少女が科学技術に対する興味や関心の向上を図るため、楽しみながら自由な発想による創作活動の場を提供します。</p> <p>【H22 目標値】 参加者数（24人）</p>	<p>【企画運営委員会議】 4月3日開催</p> <p>【青森少年少女発明クラブ】 開講式：4月25日（日） 終了式：平成23年3月6日（日）</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森市少年少女発明クラブ （341,000円）</p> <p>【H22 参加者数】 24人</p>	<p>A</p>	<p>中央市民センター</p>
<p>生涯学習支援事業 （地区市民センター）</p>	<p>青森市中央市民センター以外の10市民センターにおいて、生涯学習に対する市民ニーズの高まりや多様化に対応するため、いつでも、どこでも、だれもが学び・活動・発表できる場の設定や情報を提供し、市民の自主的な生涯学習活動を支援します。</p> <p>【H22 目標値】 地区市民センター各種講座参加者数（43,269人）</p>	<p>【利用件数・利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西部 123件 13,849人 ・東部 88件 1,967人 ・大野 88件 3,472人 ・横内 80件 2,707人 ・戸山 68件 2,446人 ・油川 187件 5,310人 ・北部 64件 1,613人 ・古川 117件 7,482人 ・荒川 166件 4,178人 ・沖館 98件 5,824人 <p>【H22 地区市民センター各種講座参加者数】 48,848人</p>	<p>A</p>	<p>中央市民センター</p>
<p>淡谷文庫資料整備事業</p>	<p>多様な学習機会の提供や、貴重な地域資料に触れる機会を提供するため、淡谷文庫資料を整備し情報を発信します。</p> <p>【H22 目標値】 展示入れ替え回数（4回）</p>	<p>淡谷文庫特別企画「淡谷悠蔵とその時代～土と書と～」</p> <p>【実施期間】12月14日（火）～12月27日（月）</p> <p>【開催場所】市民図書館 淡谷文庫資料リストの公開</p> <p>平成23年4月のホームページ公開に向け、図書・逐次刊行物等と目録との最終確認を行い、一部確認作業を終えた図書・逐次刊行物等のリスト（資料数22,709点）を作成しました。また、リストをもとに市民センター等の公共施設に設置するため、冊子についても作成しました。</p> <p>【H22 展示入れ替え回数】 0回</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>

<p>読書活動推進事業</p>	<p>読書団体の育成、支援、ボランティア活動の支援等により、子どもをはじめ、広く市民の読書活動の一層の推進を図ります。</p> <p>【H22 目標指標】 おはなし・読み聞かせ会の実施回数(37回)</p>	<p>学校支援サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業支援 27校・52日 (うち、読書啓発が41日) ・移動図書館学校訪問 16校・18回 おはなし・読み聞かせ講習会 (2回・ボランティア養成) 移動図書館紙芝居 6ヶ所 学校と公共図書館と地域を結ぶ読書懇話会 ブックスタート事業時の市民図書館利用者カードの登録の働きかけ(4ヶ月検診時) 風のはこんだおはなし会(地域編)(6ヶ所・親子) 風のはこんだおはなし会(学校編)(22校・小学生) <p>【H22 おはなし・読み聞かせ会の実施回数】 77回</p>	<p>A</p>	<p>市民図書館</p>
<p>浪岡公民館まつり支援事業 (補助金)</p>	<p>市民全体が芸術・文化に親しむことを望み、浪岡公民館まつりを開催します。</p> <p>【H22 目標値】 入場者数(2,500人)</p>	<p>浪岡公民館まつり</p> <p>【開催期間】9月18日～20日 (3日間)</p> <p>【開催場所】浪岡中央公民館</p> <p>【開催内容】各種展示会</p> <p>【入場者数】1,782人</p> <p>ステージ発表会</p> <p>【開催日】 11月28日(日)</p> <p>【開催場所】中世の館ホール</p> <p>【開催内容】舞踊・コーラス等</p> <p>【入場者数】480人</p> <p>【補助金交付先・交付額】 浪岡公民館まつり実行委員会 (540,000円)</p> <p>【H22 入場者数】 2,262人</p>	<p>B</p>	<p>教育課</p>

<p>社会教育団体支援事業 (浪岡中央公民館補助金)</p>	<p>社会教育活動を行うために、各種団体に対して財政的な援助を行います。 【H22 目標値】 社会教育団体の活動数(190回)</p>	<p>【支援団体数】 8団体 浪岡連合婦人会ほか 【補助金交付先・交付額】 地区公民館事業実施補助金 (970,000円) 浪岡文化協会補助金 (195,000円) 浪岡連合婦人会補助金 (219,000円) 冠婚葬祭合理化運動推進委員会補助金 (49,000円) 【H22 社会教育団体の活動数】 75回</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
<p>山の家活動事業</p>	<p>豊かな自然の中で環境や伝統文化について体験学習を実施します。 【H22 目標値】 利用者数(9,000人)</p>	<p>山菜料理講座 【参加者数】 22人 炭焼き講座 【参加者数】 17人 その他 【参加者数】 247人 【温泉利用者数】 3,450人 【その他利用者数】 2,172人 【H22 利用者数】 5,908人</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
<p>公民館企画運営事業 (浪岡中央公民館・地区公民館)</p>	<p>公民館事業及び地区公民館事業の企画運営を行います。 【H22 目標値】 公民館利用者数(77,000人)</p>	<p>長寿大学 ・高齢者講座 【参加者数】 2,047人 ものづくり教室 ・趣味講座 【参加者数】 330人 ・青少年講座 【参加者数】 1,108人 その他 【参加者数】 79,200人 【H22 公民館利用者数】 82,685人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>

施策2	生涯学習支援システムの充実		
施策の成果	生涯学習活動により習得した知識・技能が地域に還元されるとともに、循環していくシステムが形成されます。		
関連事業（9事業）の内部点検評価結果 A：2件（22.2%） B：0件（0%） C：1件（11.1%） D：6件（66.7%）			評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算・設備での目標達成は厳しいと思われるが、システムを見直すなど工夫して活性化を図る必要がある。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>公民館・図書館について</p> <p>公民館、図書館の利用者が減少していることから、その原因を分析し、利用促進に向けた効果的な取組や企画等の工夫により、市民が生涯学習に参加しやすい環境づくりを検討する必要がある。</p> <p>図書館協議会について</p> <p>図書館協議会は、「第二次子ども読書推進計画」の推進と相まって、図書館・学校・地域が一体となった一層広い視点で図書館活動の推進を協議していくことが求められることから、今後も形式的な協議会にならないよう留意する必要がある。</p> <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習に求められているニーズが何なのかを、「青森市生涯学習推進委員会設置運営事業」の活用、あるいは新委員会を設置して探っていくことが求められる。 ・生涯学習の拠点となる施設の利用者が減少していく中で、生涯学習推進委員会等で、より具体的に改善策を検討し、できそうなことから実践していくことが重要である。 ・生涯学習推進の核となる人材の発掘や育成に更に力を入れ、活動の場を保障し行政が支援する体制の整備強化を図りながら、人材を活かし育てていくことが大事になる。 			

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
青森県勤労青少年ホーム連絡協議会事務（負担金）	青森県内の勤労青少年ホームにおける、相互の緊密な連携を図り、ホームの健全な運営に資するため、青森県勤労青少年ホーム連絡協議会の会員として活動します。 【H22 目標値】 利用者数（13,982人）	青森県勤労青少年ホーム連絡協議会負担金を支出しました。 【負担金額】 （30,000円） ・定期総会 4月23日（金） ・館長会議 4月23日（金） ・指導員会議 5月28日（金） 【H22 利用者数】 13,500人	D	中央市民センター

東青地区公民館連絡協議会事業(負担金)	青森県東青地区の公民館の相互の提携を図り、もって公民館活動の振興発展に寄与するため、東青地区公民館連絡協議会の会員として活動します。 【H22 目標値】 公民館利用者数(869,396人)	東青地区公民館連絡協議会負担金を支出しました。 【負担金額】 (10,000円) ・定期総会 5月18日(火) ・研修会 7月16日(金) 【H22 公民館利用者数】 790,730人	D	中央市民センター
青森県公民館連絡協議会事業(負担金)	青森県内の公民館の相互の提携を図り、もって公民館活動の振興発展に寄与するため、青森県公民館連絡協議会の会員として活動します。 【H22 目標値】 公民館利用者数(869,396人)	青森県公民館連絡協議会負担金を支出しました。 【負担金額】 (48,000円) ・総会 5月26日(水) ・全国公民館連合会通常総会 6月2日(水) ・青森県公民館研究フォーラム 9月3日(金) ・東北地区社会教育研究大会 9月30日(木) ・東北地区公民館大会 10月1日(金) ・全国公民館研究集会 10月14日(木)、15日(金) 【H22 公民館利用者数】 790,730人	D	中央市民センター
日本プラネタリウム協議会事業(負担金)	他館のノウハウや最新情報を青森市中央市民センターのプラネタリウムの運営に反映させるため、日本プラネタリウム協議会の会員として活動します。 【H22 目標値】 利用者数(10,180人)	研修会・研究発表等の開催 年2回実施(6月、11月) 調査・研究及び見学情報の伝達及び資料交換の斡旋 機関紙「日本プラネタリウム協議会会誌」の発行：研修会報告 年1回実施(3月) 【H22 利用者数】 7,959人	D	中央市民センター

<p>青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会事業（負担金）</p>	<p>ライブラリー等相互の提携を図り、もって県内の視聴覚教育の振興発展に資するため、青森県視聴覚ライブラリー連絡協議会の会員として活動します。</p> <p>【H22 目標値】 視聴覚教材・教具貸出件数（674 件）</p>	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視聴覚教育に関する調査研究 ・視聴覚教育メディアの効果的な利用研究 ・ライブラリー等の運営に関する調査研究 ・ライブラリー等相互の情報交換及び教材教具の総合的活用 ・その他、目的達成に必要な事項 <p>【H22 視聴覚教材・教具貸出件数】 618 件</p>	<p>D</p>	<p>中央市民センター</p>
<p>生涯学習情報提供事業</p>	<p>市民が、学習機会を選択できることで、一緒に学習活動を展開できる仲間づくりが容易になるなど、市民の活発な生涯学習活動を支援するため、学習機会や指導者等に関する生涯学習情報を提供します。</p> <p>【H22 目標値】 生涯学習指導者数（370 人）</p>	<p>学習情報誌（3 種類）の発行 学習機会情報「生涯学習あおもり」 上半期 540 部、下半期 612 部 団体・サークル情報 155 部 生涯学習指導者情報 153 部 ホームページによる情報提供 市 HP に学習機会、団体・サークル及び指導者の各情報を掲載・更新しました。 （学習機会は年 2 回更新） 生涯学習推進員発行の「あおもり学びの仲間たち」により学習機会の情報を提供しました。</p> <p>【H22 生涯学習指導者数】 319 人</p>	<p>C</p>	<p>社会教育課</p>

<p>生涯学習推進員設置事業</p>	<p>生涯学習活動に係る悩みや相談に的確に応え、サポートすることにより、充実した学習活動や市民の主体的活動を支援するため、生涯学習推進員を配置し支援体制を整備します。</p> <p>【H22 目標値】 生涯学習推進員設置数（4人）</p>	<p>臨時相談コーナーの開設 学習活動に関する相談</p> <p>【開設期間】1月24日（月）～1月26日（水）（3日間）</p> <p>【開設場所】カダール 地区市民センターの巡回講座の企画等の相談</p> <p>「あおもり学びの仲間たち」を発行（ポスター、冊子）</p> <p>【発行時期】8月、12月、2月</p> <p>【総発行部数】593部</p> <p>放課後子ども教室スタッフ研修会の開催</p> <p>【開催日】2月7日（月） 放課後子ども教室レクリエーション講習を実施</p> <p>【開催日】2月7日（月）</p> <p>【H22 生涯学習推進員設置数】4人</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>
<p>青森市生涯学習推進委員会設置運営事業</p>	<p>市民意見が反映された市民・行政の一体的な生涯学習・社会教育施策・事業の展開を目指し、外部有識者や市民代表による積極的な御意見を伺うため、「青森市生涯学習推進委員会」を設置・運営します。</p> <p>【H22 目標値】 委員会開催回数（3回）</p>	<p>【青森市生涯学習推進委員会開催状況】</p> <p>第1回委員会（8月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森市生涯学習推進委員会の進め方について ・青森市の生涯学習・社会教育行政について <p>第2回委員会（10月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習、社会教育における重点事業実施について <p>第3回委員会（平成23年1月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「自然体験交流施設開設に向けた方針（素案）」について ・「青森市新総合計画」基本構想について <p>【H22 委員会開催回数】3回</p>	<p>A</p>	<p>社会教育課</p>

<p>図書館運営管理事業 (図書館協議会)</p>	<p>多分野から幅広い意見を取り入れ、市民ニーズに合った図書館運営サービスの展開を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 入館者数(782,000人)</p>	<p>図書館協議会の開催</p> <p>【委員数】10人</p> <p>【協議会開催状況】</p> <p>第1回協議会(1月)</p> <p>・平成22年度の取組、現状と課題(活動の重点、利用状況と活動、地域読書活動の推進、子ども読書活動推進計画の進捗等)</p> <p>第2回協議会(3月)</p> <p>・H23年度に向けた取組(活動の重点、不審者・過剰要求の対策等)</p> <p>報告:東北地方太平洋沖地震の影響と対応</p> <p>【H22 入館者数】 652,202人</p>	<p>D</p>	<p>市民図書館</p>
-------------------------------	--	--	----------	--------------

施策3	生涯学習施設機能の充実	
施策の成果	興味や関心などの知的欲求や健全な余暇利用が満たされ、生きがいのある人生を過ごすことができます。	
関連事業（11事業）の内部点検評価結果 A：3件（27.3%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：8件（72.7%）		評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民センター等の利用者の減少が何を意味するものなのか検証するとともに、活性化に向けた取組を図っていく必要がある。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>生涯学習支援事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民センター、公民館、及び市民図書館は、生涯学習の中核的役割を担っている重要施設であることから、利用者ニーズに対応した事業の見直しや工夫など、施設機能の充実を図る検討が必要である。 ・市民センター、公民館、及び市民図書館の利用者が減少していることから、その原因を分析し、開館時間の変更など利用者のニーズを反映した魅力ある事業を展開を検討する必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民センター、及び公民館の入館者数が減少している原因、要因を分析する必要がある。 ・市民センターについては、地区毎に利用件数・人数にかなりばらつきが見られる。施設整備の問題も少なからず影響があると思うが、各センター間で職員同士の研修や意見交換の場を設けるなどして刺激し合い、活動の活性化を図る必要がある。 ・公民館での事業等を通して、地域の指導者の育成や地域の自然・歴史・文化などを大切にする心を育て、地域住民に愛着のある学習の場として欲しい。 		

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
勤労青少年ホーム運営管理事業	<p>勤労青少年の健全な育成と福祉の増進に寄与するため、勤労青少年のために、学習やスポーツ等の各種活動の場として青森市勤労青少年ホームを設置し、円滑で適正な管理運営をします。</p> <p>【H22 目標値】 利用者数（13,982人）</p>	<p>【利用件数・利用者数】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年団体 331回 3,747人 ・一般団体 1,209回 9,579人 ・市民スクール 10回 174人 <p>【H22 利用者数】 13,500人</p>	D	中央市民センター

市民センター管理運営事業（中央市民センター）	市民の学習活動や地域活動の拠点となる社会教育施設として、ニーズに対応した円滑で効率的な運営を図るとともに、安全で快適な学習環境を維持するため、青森市中央市民センターの適正な管理運営に努めます。 【H22 目標値】 利用者数（156,770人）	【H22 利用件数】 8,212件 【H22 利用者数】 151,300人	D	中央市民センター
分館運営管理事業	各地域におけるコミュニティ活動や学習活動の促進を図るため、中央市民センター分館を設置し円滑かつ適正な管理運営に努めます。 【H22 目標値】 分館利用者数（49,876人）	【利用団体数・利用回数】 1,096団体 2,115回 【H22 分館利用者数】 47,618人	D	中央市民センター
市民センター管理運営事業（地区市民センター）	市民の学習活動や地域活動の拠点となる社会教育施設として、ニーズに対応した円滑で効率的な運営を図るとともに、安全で快適な学習環境を維持するため、青森市中央市民センター以外の10市民センターについて、適正な管理運営に努めます。 【H22 目標値】 地区市民センター利用者数 （672,228人）	【利用件数・利用者数】 ・西部 5,173件 147,880人 ・東部 4,693件 30,708人 ・大野 2,274件 32,378人 ・横内 2,250件 34,814人 ・戸山 2,190件 32,981人 ・油川 3,862件 102,296人 ・北部 771件 20,917人 ・古川 3,622件 93,554人 ・荒川 2,525件 38,909人 ・沖館 5,352件 104,993人 【H22 地区市民センター利用者数】 639,430人	D	中央市民センター
公民館分館併設集会所建設事業（補助金）	町会が保有する公民館分館併設集会所が良好な状態で維持管理されることにより、地域レベルでのコミュニティ活動の活性化を図ります。 【H22 目標値】 分館利用者数（49,876人）	相野分館の屋根及び外壁改修工事に対し、補助金を交付しました。 【補助金交付先・交付額】 相野第一町会 （1,280,000円） 【H22 分館利用者数】 47,618人	D	中央市民センター

<p>図書資料整備事業</p>	<p>幅広い資料や情報を収集し、常に新鮮な多分野にわたる情報を提供することにより、市民の知的欲求に応えます。</p> <p>【H22 目標値】 市民図書館の蔵書数 (783,300 冊)</p>	<p>選定作業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リクエストや蔵書バランスなどを考慮した週単位の選書作業 点検作業 ・図書館資料の整理のための書庫の点検作業 館内事業 ・おひざにだっこのおはなし会 (毎週金曜) 49 回 ・たのしいかみしばいのじかん (毎週土曜) 49 回 ・季節および特別展示と貸出 18 回 図書館だより「おはなしはまほう」の発行 (年 4 回) <p>【H22 市民図書館蔵書数】 826,390 冊</p>	<p>A</p>	<p>市民図書館</p>
<p>図書館運営管理事業 (負担金)</p>	<p>図書館運営及び図書館サービスを実施していく上で指針となる重要な資料の提供や、図書館職員研修を受けることで職員の資質向上を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 入館者数 (782,000 人)</p>	<p>【加盟団体・負担金額・主な活動】</p> <p>日本図書館協会 (50,000 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全国的な情報収集 ・「図書館雑誌」(年 12 号) 等 <p>青森県図書館連絡協議会 (10,000 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内図書館網推進 (共通利用券) 研修派遣 (職員) ・利用促進広報 (会報「絆」・2 回) 研修会 (10 月) <p>東青地区読書団体連絡協議会 (5,000 円)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書推進学習会及び研修会、読み聞かせ研修会 ・地区の読書推進の情報交換や普及啓発の意見交換 <p>【H22 入館者数】 652,202 人</p>	<p>D</p>	<p>市民図書館</p>

<p>図書館運営管理事業</p>	<p>図書館サービス業務の円滑化、効率化を図り、読書活動を一層推進します。</p> <p>【H22 目標値】 入館者数（782,000人）</p>	<p>図書館電算システムの更新に向け検討しました。</p> <p>窓口業務の委託による効率化を図りました。</p> <p>専門職による図書館サービス（調査・相互貸借等）学校支援などを充実しました。</p> <p>図書館ボランティア(ライブラリーフレンズ)との共催事業を開催しました。</p> <p>【22 年度登録者】81人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おひざにだっこのおはなし会 49回 ・たのしいかみしばいのじかん 49回 ・「さわる絵本展」 (7月29日～8月2日) ・障害者週間特別展示 (12月3日～7日) ・対面朗読(随時受付) <p>【H22 入館者数】 652,202人</p>	<p>D</p>	<p>市民図書館</p>
<p>館外貸出運営事業</p>	<p>市内全域的な図書館サービス網体制の充実を図り、図書館を直接利用できない方や図書館から離れている地域の方へ図書館サービスを提供します。</p> <p>【H22 目標値】 館外サービスにおける貸出冊数（283,020冊）</p>	<p>各市民センターへ配本 11カ所 月2回</p> <p>浪岡中央公民館 月2回 (予約図書等:上記の施設を週2回巡回)</p> <p>貸出文庫(配本) 16団体月1回</p> <p>貸出文庫(来館) 13団体月1回</p> <p>学校配本 年4回 小学校17校、中学校1校</p> <p>移動図書館巡回 市内35カ所 2週に1回</p> <p>移動図書館学校訪問 17校 13日</p> <p>移動図書館冬期代替巡回6カ所、常設3カ所</p> <p>【H22 館外サービスにおける貸出冊数】 300,471冊</p>	<p>A</p>	<p>市民図書館</p>

<p>山の家運営管理事業</p>	<p>豊かな自然の中で環境や伝統文化について体験しつつ、地域の活性化を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 山の家利用者数（9,000 人）</p>	<p>【施設利用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティ事業参加者 313 人 ・温泉利用者数 3,450 人 ・その他利用者数 2,145 人 <p>【H22 山の家利用者数】 5,908 人</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
<p>公民館運営管理事業 （浪岡中央公民館・ 地区公民館）</p>	<p>公民館及び克雪館の運営管理を行います。</p> <p>【H22 目標値】 公民館利用者数（77,000 人）</p>	<p>公民館の管理業務・貸館・図書室開放業務等を適正に実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> 【浪岡中央公民館】 ・2,453 件、52,075 人 【浪岡北中野公民館】 ・189 件、7,094 人 【浪岡本郷公民館】 ・333 件、9,537 人 【浪岡野沢公民館】 ・214 件、5,345 人 【浪岡女鹿沢公民館】 ・449 件、5,265 人 【浪岡大杉公民館】 ・106 件、3,369 人 <p>【H22 公民館利用者数】 82,685 人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>

政策第3節：豊かな感性を磨く文化・芸術

施策1	文化・芸術活動の充実
施策の成果	一人ひとりの生活はもとより、潤いに満ちた文化・芸術の薫り高いまちとなります。
関連事業（12事業）の内部点検評価結果	評 価
A：7件（58.3%） B：1件（8.3%） C：2件（16.7%） D：2件（16.7%）	
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 小・中学生から大人まで、幅広く優れた文化・芸術の鑑賞や参加機会を増やすことによって、文化芸術活動の活性化を支援している点は高く評価する。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>文化・芸術活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> 多様な文化芸術に触れる機会を増やすため、事業については、広報活動を積極的に行うとともに、魅力的な内容となるように工夫する必要がある。 「青森市文化芸術活動振興基金活用事業」は、周知度を高め、対象となる団体等を中心に更なる活動を促進させる必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 	
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業全体として良好である。 文化・芸術に関する事業は、児童生徒の人格形成に影響を及ぼすと考えられるので更なる充実に努めて欲しい。 浪岡地区で行われている小学校芸術鑑賞教室の成果を踏まえ、旧青森市内の小学校にも鑑賞する機会の充実を図ることを期待する。 	

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
市所蔵美術品活用事業	<p>作品の鑑賞を通じ郷土の文化を理解してもらうために、多くの市民に優れた美術作品を鑑賞する機会を提供します。</p> <p>【H22 目標値】 作品活用数（416点）</p>	<p>青森市所蔵作品展（年6回） まちなかロビー展（5ヶ所） 青森銀行新町支店 みちのく銀行青森支店 ホテルJALシティ青森 青森ワシントンホテル 青森市民ホール （2ヶ月毎展示替え） 古川市民センター常設展示 （2ヶ月毎展示替え）</p> <p>【H22 作品活用数】 513点</p>	A	文化スポーツ振興課

市所蔵美術品保存事業	市所蔵の美術作品を良好な状態で展示公開し、また次代への継承を図るため、適正な保存管理に努めます。 【H22 目標値】 適正保存率(100%)	・動産保険の契約(3件) ・展示の入替毎に作品状態を確認しました。 【H22 適正保存率】 100%	A	文化スポーツ振興課
青森市文化芸術活動振興基金活用事業	青森市内における市民による文化芸術活動の推進を図るために設置した基金を活用し、文化芸術活動を行う市民(団体含む)に活動経費の一部を助成し、また、優れた文化芸術活動を行う市民を表彰します。 【H22 目標値】 助成金対象事業割合(100%)	・青森市文化芸術活動振興基金助成金交付 2件 ・青森市アートアワード表彰 1件 【H22 助成金対象事業割合】 20%	C	文化スポーツ振興課
文化事業後援事業	本市の文化芸術活動を活性化するため、文化芸術活動を行う市民(団体含む)に対しての後援事業を行います。 【H22 目標値】 後援件数(97件)	・後援名義使用の承認件数 118件 ・市長賞(楯、トロフィー等)の寄贈件数 20件 【H22 後援件数】 161件	A	文化スポーツ振興課
文化賞表彰事業	市民の文化芸術に対する意識啓発を図るため、文化・芸術の大会、コンクール等で優秀な成績を収めた市民の功績を称えます。 【H22 目標値】 適正処理率(100%)	【平成22年度受賞者数】 ・文化賞 1名 0団体 ・文化奨励賞 23名 1団体 【表彰式】 平成23年2月17日(木) 【開催場所】 青森市男女共同参画プラザ AV多機能ホール 【H22 適正処理率】 100%	A	文化スポーツ振興課
文化振興施設運営管理事業 (文化振興事業)	本市の文化芸術振興を推進し、活動機会の充実を図るため、多くの市民に文化芸術に親しむ機会を提供します。 【H22 目標値】 利用者数(40,300人)	【実施事業数】 松竹大歌舞伎青森公演、第4回津軽三味線日本一決定戦等 32事業 【H22 参加者数】 37,965人	C	文化スポーツ振興課

大井基金活用事業 (美術・音楽コンクール開催事業)	日頃の学習成果の発表の場を提供することで、学習意欲をより高めるとともに、中学生の参加や一般市民の鑑賞の機会を増やすことにより、文化芸術への関心を高めます。 【H22 目標値】 参加者数(42人)	第5回青森市中学生ピアノコンクール 【開催日】 11月6日(土) 【開催場所】 青森公立大学交流会館講堂 【H22 参加者数】 36名	D	文化スポーツ振興課
青森市中学校文化連盟活動事業(補助金)	青森市中学校文化連盟の文化事業を活発化することにより、市内の中学生の文化的活動の充実・発展を図ります。 【H22 目標値】 参加率(100%)	10の専門部会毎に発表会やコンクールの開催や調査・研究を実施しました。 【専門部会】10部会 文学、合唱・音楽、美術、吹奏楽、技術・家庭、英語、演劇、伝統文化、生徒会・奉仕活動、理科 【補助金交付先・交付額】 青森市中学校文化連盟 (172,160円) 【H22 参加率】 100%	A	文化スポーツ振興課
小学生芸術鑑賞教室事業	優れた芸術に感動することにより、人間性豊かな児童の育成環境を整えます。 【H22 目標値】 参加率(100%)	小学生芸術鑑賞教室「影絵劇 長靴をはいたねこ」を実施しました。 【会場】中世の館ホール 【開催日】6月30日、 7月1日 【参加者数】1,083人 【H22 参加率】 99%	B	教育課
浪岡舞台演劇公演支援事業 (補助金)	地域における舞台芸術の活性化及び人材育成を図るとともに、市民に心のゆとりをもたらす事業を支援します。 【H22 目標値】 観覧者数(550人)	浪岡舞台演劇公演「両家の言い分」を上演しました。 【会場】中世の館ホール 【開催日】9月3日、4日 【H22 観覧者数】 595人	A	教育課
浪岡展覧会事業	地域住民が芸術に触れ、地域における芸術文化の振興と発展を図ります。 【H22 目標値】 作品出品点数(150点)	「第33回浪岡展覧会」を開催しました。 【会場】浪岡中央公民館 【開催期間】9月18日~20日 (3日間) 【H22 作品出品数】 135点	D	教育課

<p>中世の館運営管理事業 (文化振興事業)</p>	<p>郷土の歴史及び文化芸術に親しむ機会を提供し、もって歴史教育及び文化芸術の振興を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 施設利用者数(20,000人)</p>	<p>アフタヌーン・コンサート</p> <p>【会場】中世の館ホール等 【開催期間】毎月第4土曜日(年10回程度開催) ナミオカ名画座 4作品を上演</p> <p>【会場】中世の館ホール 【開催期間】8月28日~29日 一枚の美術館</p> <p>中世の館収蔵美術品の展示 毎月1作品を交換展示</p> <p>【H22 施設利用者数】 23,223人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>
--------------------------------	--	---	----------	------------

施策2	版画文化の充実		
施策の成果	地域に根ざした文化・芸術として、伝統的な版画文化が次代に継承されるとともに、新たな技法を用いるなどの版画文化の創造が図られます。		
関連事業（3事業）の内部点検評価結果 A：1件（33.3%） B：0件（0%） C：2件（66.7%） D：0件（0%）			評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森市の最も特徴的な文化である版画を、更に進化、発展させ、全国的に発信していくことが重要である。 ・また、版画については、市民や、中・高校生への浸透が今一つであり、施策の内容、方法を見直すなど、版画についての目標を改めて検討する必要がある。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>版画文化について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な版画文化を次世代へ継承するために、版画コンクールや小・中・高校生を対象とした公募版画展の開催など活動発表の機会の提供と、若い世代が版画に関心を持つ環境づくりを検討する必要がある。 ・「あおもり国際版画トリエンナーレ2010開催事業」は、その内容が充実しているにもかかわらず、応募者、観客数が減少していることから開催時期、開催場所などの検討が必要である。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・専門スタッフが少なく、何らかの形で専門スタッフを配置して環境整備することが必要である。 ・青森市特有の版画文化の充実が十分に図られていない。 ・次世代への継承を考えたとき、幼稚園や小学校での版画教育にはまだまだ力を入れて取り組んでいるだけに、毎年刊行している小・中版画集への補助金を復活させるなど、地道な支援が必要ではないか。 			

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
版画の街・あおもり開催事業 （負担金）	「街中が版画ギャラリー」のキャッチフレーズで開催される版画の街あおもりの事業を通じ、本市の版画文化の振興を図ります。 【H22 目標値】 展示作品数（245点）	第10回青森子ども共同版画コンクール作品展 【開催期間】 8月2日～9月30日 【展示作品数】24点 児童版画ロビー展 【開催期間】9月5日～13日 【展示作品数】245点 【負担金支払先・負担金額】 版画の街・あおもり実行委員会 （382,000円） 【H22 展示作品数】 269点	A	文化スポーツ振興課

<p>あおり国際版画トリエンナーレ2010開催事業</p>	<p>本市の版画文化を国内外に発信し、その拠点としての存在を確立するために実施します。</p> <p>【H22 目標値】 応募作品数(1,646点)</p>	<p>「あおり国際版画トリエンナーレ2010」</p> <p>【開催期間】 12月11日～ 平成23年1月23日</p> <p>【各賞】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大賞1点 ・棟方志功木版画特賞1点 ・審査員特別賞 1点 ・スポンサー賞 5点 ・A C A C賞1点 <p>【来場者数】1,007人</p> <p>【H22 応募作品数】 1,158点</p>	<p>C</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>
<p>大井基金活用事業 (棟方志功賞版画展開催事業)</p>	<p>版画の製作を通して、児童生徒の技術及び創造性の向上と版画芸術に対する理解を深めるとともに、広く市民に対して棟方志功の偉業を伝承します。</p> <p>【H22 目標値】 応募作品数(9,800点)</p>	<p>棟方志功賞版画展</p> <p>【開催期間】 平成23年2月5日～7日</p> <p>【開催場所】青森市民美術展示館</p> <p>【展示作品数】999点(入賞作品)</p> <p>【来場者数】2,214人</p> <p>【H22 応募作品数】 8,023点</p>	<p>C</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>

施策3	伝承・伝統文化の保存・継承	
施策の成果	郷土の伝承・文化への誇りと愛着が培われ、地域ならではの特性を有する文化が次代へ引き継がれます。	
関連事業（3事業）の内部点検評価結果（平成22年度の目標値未設定事業1件） A：1件（33.4%） B：1件（33.3%） C：0件（0%） D：1件（33.3%）	評 価	
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 市の文化財資料の保管場所として旧戸門小学校を活用していく取り組みは評価できる。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>伝承・伝統文化について</p> <ul style="list-style-type: none"> 青森市の伝承・伝統文化の保存と次世代への継承のためにも、後継者の育成や活動団体に対する活動の場の提供、団体に対する支援について検討する必要がある。 「青森市PTA連合会ねぶた運行支援事業」については、次世代を担う小・中学生のねぶた体験の場を継続的に確保するため、関係者の理解と協力を求めながら引き続き、支援する必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> スムーズに実施されている。今後も継続して更に充実した内容にして欲しい。 市文化財資料等を保管する施設として旧戸門小の改修工事が着工されることは評価される。 伝統芸能の継承は、後継者の育成事業及び民俗芸能保存団体への発表機会の充実が望まれる。 		

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
青森市PTA連合会 ねぶた運行支援事業 （補助金）	次代を担う青森市の子どもたちに、伝統ある郷土の文化遺産の継承を図り、市民の郷土愛を培うことをめざし、PTA連合会のねぶた運行事業を支援します。 【H22 目標値】 参加者数（3,650人）	【事業実施期間】 8月2日（月）～4日（水）、 6日（金）の4日間 【運行参加者】 市内児童生徒1,727人 父母931人 計2,658人 上記のほか4中学校の少年非行防止チーム「JUMP」、韓国平澤市の中学生、函館市PTA連合会等が参加しました。 【補助金交付先・交付額】 青森市PTA連合会 （4,442,000円） 【H22 参加者数】 2,658人	B	社会教育課

<p>伝統文化こども教室 開催支援事業</p>	<p>子どもたちの地域の歴史、民俗、風習などに対する関心や郷土に対する理解を深めるとともに、それらを尊重する心を育て、豊かな人間性の涵養を図るため、伝統芸能や伝統文化の団体が助成を受けられるよう支援します。</p> <p>【H22 目標値】 採択団体割合（100%）</p>	<p>【平成22年度実施内容】 ねぶた囃子、獅子踊り、日本舞踊、茶道、華道等</p> <p>【平成22年度採択団体数】 11団体（12団体中）</p> <p>【H22 採択団体割合】 92%</p>	<p>D</p>	<p>社会教育課</p>
<p>文化財資料保管施設 改築事業</p>	<p>市民共通の貴重な財産である市所蔵の文化財資料等を、将来にわたり大切に守り受け継がれるようにするため、適切な環境下で収蔵・管理できる施設を設置します。</p> <p>【H22 目標値】 保管施設収蔵点数（ - 点）</p>	<p>文化財資料等を収蔵・保管する施設として利用する旧戸門小学校の改修工事に係る工事設計委託を実施しました。</p>	<p>-</p>	<p>文化財課</p>
<p>伝統芸能保存事業</p>	<p>郷土の伝統文化の保存と地域文化の発展に寄与するため、民俗芸能の保存団体における伝承活動や、後継者の確保・育成を支援します。</p> <p>【H22 目標値】 民俗芸能保存団体数（10団体）</p>	<p>文化庁の「ふるさと文化再興事業 地域伝統文化伝承事業」や民間の各種活動補助事業の情報を提供するなど、民俗芸能保存団体の活動及び継承に対する支援を行った。</p> <p>【H22 民俗芸能保存団体数】 10団体</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>

施策4	文化財の保存・活用	
施策の成果	郷土の歴史・文化に対する誇りと愛着が培われ、貴重な文化財が次代へ引き継がれます。	
関連事業（16事業）の内部点検評価結果（平成22年度の目標値未設定事業2件） A：12件（75.0%） B：4件（25.0%） C：0件（0%） D：0件（0%）	評価	
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げているものの、史跡整備については早期完成に向け一層推進していく必要がある。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>文化財の保存・活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 本市の歴史的建造物や文物、文化財について、学校や家庭教育学級、市民センター講座等で取り上げるなど、学習機会の充実を図る必要がある。 <p>世界遺産登録について</p> <ul style="list-style-type: none"> 小牧野遺跡の史跡整備を推進するとともに、縄文遺跡群の世界遺産登録を目指し、引き続き、県及び関係団体と一体となって取り組むとともに、市民等に一層のPRを図る必要がある。 <p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> スムーズに実施されている。今後も継続して更に充実した内容にして欲しい。 小牧野遺跡や浪岡城跡については、子どもを含む見学者の目線にも配慮した一層の整備を検討して欲しい。 		

（資料）施策4 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
シナイモツゴ保護対策事業 （交付金）	市指定文化財（天然記念物）である又八沼のシナイモツゴを保護するため、その生息地周辺の環境を維持するとともに、管理団体の保護活動を支援します。 【H22 目標値】 シナイモツゴ生息数（定点観測平均値）（11匹）	又八沼巡視パトロールを44回実施しました。 【シナイモツゴ生息数】 25匹 【交付金交付先・交付額】 シナイモツゴを守る会 （40,000円） 【H22 シナイモツゴ生息数（定点観測平均値）】 25匹	A	文化財課
文化財保護事務	市内の文化財の保護・保存のため、定期的なパトロールを実施するとともに、その所有者等に対して必要な指導・助言を行います。 【H22 目標値】 指定文化財件数（70件）	・市指定文化財等の現状変更の許可件数 9件 ・カモシカ保護のための出動回数 5回 ・市指定文化財、ゆかりの地碑、歴史街道の碑及び説明板のパトロール調査 20回 【H22 指定文化財件数】 70件	A	文化財課

<p>市内遺跡発掘調査事業</p>	<p>市内の土地開発予定地内における、埋蔵文化財の分布及び試掘・確認調査、また、個人住宅の建築工事等に伴う本発掘調査を実施し、土地開発と埋蔵文化財保護との円滑な調整を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 開発行為調整累計件数（10件）</p>	<p>【分布調査】 後潟及び浪岡の2地区について実施しました。この調査結果により青森市内の遺跡数は1箇所増加して409箇所になりました。</p> <p>【試掘・確認調査】 羽黒平（1）遺跡等に係る開発予定について、試掘・確認・工事立会等を10件実施しました。</p> <p>【H22 開発行為調整累計件数】 12件</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>
<p>石江遺跡群発掘調査事業 （土地区画整理事業）</p>	<p>石江土地区画整理事業に係る造成に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存を図り、地域社会の埋蔵文化財活用に資することを目的とします。</p> <p>【H22 目標値】 発掘調査実施累計面積 （196,000㎡）</p>	<p>【調査面積】9,100㎡ 13箱の出土遺物を検出。 出土遺物と、検出遺構についてまとめた発掘調査報告書を作成中。</p> <p>【H22 発掘調査実施累計面積】 201,211㎡</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>
<p>遺跡発掘調査事業 （受託事業）</p>	<p>民間会社等の土木工事に先立ち、工事予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地内について、記録保存のための発掘調査を受託し、実施します。調査に係る費用は委託者の負担となります。</p> <p>【H22 目標値】 発掘調査実施累計面積（0㎡）</p>	<p>平成22年度に調査依頼がありませんでした。</p> <p>【H22 発掘調査実施累計面積】 0㎡</p>	<p>-</p>	<p>文化財課</p>
<p>埋蔵文化財整理作業 場管理事務</p>	<p>発掘調査により出土した遺物類の分類・整理作業を行い、これら資料を保管するための施設を維持管理します。</p> <p>【H22 目標値】 出土遺物保管数（8,172箱）</p>	<p>・出土遺物等の整理作業を行いました。 石江遺跡群、野尻館遺跡、その他の市内遺跡</p> <p>・平成22年度に28箱の出土遺物があったため、保管している遺物（箱）数は8,069箱となりました。また、青森県埋蔵文化財調査センターから市内出土の遺物約7,000箱を譲与される予定となっています。</p> <p>【H22 出土遺物保管数】 8,069箱</p>	<p>B</p>	<p>文化財課</p>

小牧野遺跡整備事業	<p>国史跡である小牧野遺跡を適切に保存し、更には、憩いと歴史学習の場として活用するために、史跡公園として整備します。</p> <p>【H22 目標値】 環境整備工事累計面積 (12,000 m²)</p>	<p>・環状列石の保護と周辺環境整備を実施しました。</p> <p>【累計面積】 29,847 m²</p> <p>・盛土や芝張りを行いました。</p> <p>・市民参加の史跡整備「どんぐりの森をつくろう」学習会を開催しました。</p> <p>【H22 環境整備工事累計面積】 12,080 m²</p>	A	文化財課
埋蔵文化財保護事務	<p>埋蔵文化財包蔵地の周知を図るとともに、その保護に努め、土木工事等の届出があった場合には、適切な指導を行い、所管官署に進達します。</p> <p>併せて、発掘調査の成果などの情報を広く提供し、埋蔵文化財保護の啓発を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 土木工事等による発掘届出受理数 (25 件)</p>	<p>・埋蔵文化財包蔵地照会件数 480 件</p> <p>・遺跡台帳・地図の整備(平成22年度遺跡1カ所増加)</p> <p>・埋蔵文化財パンフレット「いにしえ青森 vol17」を2,000部作成しました。 (配付先 市内小中学校等)</p> <p>・遺跡・文化財ホームページの更新・運営しました。</p> <p>【H22 土木工事等による発掘届出受理数】 26 件</p>	A	文化財課
文化財審議会関係事務	<p>郷土の文化財の適切な保護と活用を図るため、市指定文化財としての指定や保存・活用方法などについて、専門家による調査・審議を行います。</p> <p>【H22 目標値】 文化財指定件数(0 件)</p>	<p>平成22年度は審議する案件がなく、審議会を開催しませんでした。</p> <p>【H22 文化財指定件数】 0 件</p>	-	文化財課

<p>史跡見学者対策事業</p>	<p>小牧野遺跡及び高屋敷館遺跡の周知を図るとともに、史跡として適切に維持管理し、見学者への便宜を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 史跡累計見学者数（13,000人）</p>	<p>小牧野遺跡（H22までの累計見学者数 15,645人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成22年度から環状列石周辺の除草、通路の草刈、公有地内の樹木への薬剤散布を実施しました。 ・誘導標識（電柱広告）、見学者のための仮設休憩室、仮設トイレを設置しました。 <p>高屋敷館遺跡</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡内の草刈、枝払い等 <p>【H22 史跡累計見学者数】 16,721人</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>
<p>高屋敷館遺跡環境整備事業</p>	<p>国史跡である高屋敷館遺跡を、郷土の歴史学習の場として、また、見学者に親しまれるような史跡公園として保存・整備します。</p> <p>【H22 目標値】 環境整備工事累計面積（14,117㎡）</p>	<p>遺構盛土保護工事実施面積 3,783㎡</p> <p>【H22 環境整備工事累計面積】 12,259㎡</p>	<p>B</p>	<p>文化財課</p>
<p>文化財資料展示活用事業</p>	<p>既設の市所有施設を対象とし、貴重な文化財資料等が防犯・防災・劣化防止などの適切な環境下で保管・収蔵できるよう改築し、資料等の保護並びに活用に使います。</p> <p>【H22 目標値】 文化財資料等の展示・公開事業見学者数（1,000人）</p>	<p>資料の常設展示、公開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育研修センター ・八甲田丸 ・森林博物館 <p>出前展示 4件(小学校) 博物館等への貸出し 6件</p> <p>企画展示(ストリート・ミニ・ミュージアムの実施) 2回</p> <p>【見学者数 928人】</p> <p>【H22 文化財資料等の展示・公開事業見学者数】 3,261人</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>

<p>森林博物館企画運営事業</p>	<p>これまで、児童生徒や一般者を対象に郷土の自然に親しむ事業を実施してきましたが、平成19年度から施設の運営が指定管理者へ移行したことに伴い、指定管理者からの多様な事業の提案により、企画事業を実施します。</p> <p>【H22 目標値】 入館者数(7,000人)</p>	<p>季節コーナー展示(野鳥写真展外)実施回数 11回 自然森林教室 実施回数 4回 参加者数延 322人 子ども自然探検クラブ 実施回数 全4回 参加者数延 45人 森林博物館ふれあいデー 8月1日 その他自主事業 (植物標本教室外) 実施回数 5回 【H22 入館者数】 9,415人</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>
<p>浪岡城跡新館公有化事業</p>	<p>浪岡城跡全体の保存整備のため、年次計画によって、浪岡城跡の新館地区の公有化を推進します。</p> <p>【H22 目標値】 公有化累計面積(10,204㎡)</p>	<p>【H22 公有化累計面積】 11筆 9,997㎡</p>	<p>B</p>	<p>文化財課</p>
<p>原因者負担発掘調査事業 (県受託)</p>	<p>堤川広域基幹河川改修工事に先立ち、予定地内に所在する埋蔵文化財包蔵地の発掘調査を実施し、遺跡の記録保存をし、埋蔵文化財の活用を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 発掘調査実施累計面積 (3,000㎡)</p>	<p>【野尻館遺跡】 ・調査期間 5月20日～ 平成23年3月30日 ・出土遺物 10箱 (土師器、須恵器、擦文土器、縄文土器など) 【H22 発掘調査実施累計面積】 1,856㎡</p>	<p>B</p>	<p>文化財課</p>
<p>世界遺産登録推進事業</p>	<p>「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」の構成資産の一つとして世界遺産登録候補となっている国史跡小牧野遺跡を、世界遺産登録実現のため保存管理計画の策定や、気運醸成のための事業を実施します。</p> <p>【H22 目標値】 「移動縄文展」入込数(8,000人)</p>	<p>「青森市世界遺産登録推進連絡会議」を8月に設置し、市民等を対象に移動縄文展を開催しました。</p> <p>【移動縄文展】 5回 【H22 「移動縄文展」入込数】 13,477人</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>

浪岡城跡新館保存修理事業	<p>国史跡浪岡城跡を適切に保存・保護するため、平成 20 年度以降、公有化した土地について、盛土・緑地化します。</p> <p>【H22 目標値】 保護工事進捗率（6%）</p>	<p>【買収予定(対象)面積】 21,663.42 m²</p> <p>【工事面積】 盛土・緑地化工事 1,374 m²</p> <p>【H22 保護工事進捗率】 6%</p>	A	文化財課
浪岡地区文化財管理事業	<p>文化財の管理業務を適正に行うことにより、郷土の歴史教育の普及・振興を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 見学者数（2,500 人）</p>	<p>・浪岡城跡公園（国指定史跡「浪岡城跡」）、市指定文化財「伝北畠氏墓所」、県重宝「旧坪田家住宅」の環境整備事業（草刈等）を適正に実施し、旧坪田家住宅について修繕を行いました。</p> <p>・管理する文化財の利活用などに係る業務を実施しました。</p> <p>【H22 見学者数】 2,700 人</p>	A	教育課

施策5	文化・芸術施設機能の充実	
施策の成果	優れた文化・芸術作品を鑑賞することなどにより、文化・芸術活動に対する機運が醸成されます。	
関連事業（4事業）の内部点検評価結果	A：3件（75.0%） B：0件（0%） C：1件（25.0%） D：0件（0%）	評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事業事業については、着実に実施され成果を上げており、また、各施設の運営も概ね良好である。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>文化施設について</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化施設において利用者数が増えていることから、今後、より多くの市民に愛用され活用されるためには、指定管理者、市の関係部署とも連携した広報活動や知恵及びアイデアを出し合いながら施設機能の強化を図っていく必要がある。 青森市文化会館及び青森市民ホールの駐車場については、施設利用者以外の利用促進の積極的な広報活動を行うとともに、利用者にとって利用しやすい環境整備を検討する必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね良好である。 文化・芸術施設の管理面や運用面でも、関係機関との連携強化や利用者の要望等を可能な限り取り入れるなどして、市民にとって活用しやすい愛着のある施設とすることが望まれる。 		

（資料）施策5 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
文化振興施設運営管理事業 （文化施設管理）	本市の文化芸術振興を推進するため、文化振興施設の適正な管理運営を図ります。 【H22 目標値】 利用者数（571,430人）	青森市文化会館 【利用者数】313,835人 青森市民ホール 【利用者数】144,463人 青森市民美術展示館 【利用者数】116,419人 青森市合浦亭 【利用者数】670人 【H22 利用者数】 575,387人	A	文化スポーツ振興課
文化施設駐車場運営管理事務	市民が安全で快適に文化振興施設を利用できる環境を確保します。 【H22 目標値】 利用台数（52,000台）	文化会館地下駐車場 【利用台数】36,318台 市民ホール駐車場 【利用台数】12,293台 【H22 利用台数】 48,611台	C	文化スポーツ振興課

<p>森林博物館運営管理事業</p>	<p>郷土の自然と森林、また、旧営林局の歴史を中心に、本市の歴史・文化を知ることのできる施設として森林博物館を運営管理します。</p> <p>【H22 目標値】 入館者数（7,000人）</p>	<p>平成19年度から指定管理制度導入。</p> <p>【指定管理者】 青森県森林組合連合会</p> <p>【委託期間】 平成19年度～平成23年度</p> <p>・主な施設保守点検等実施（再委託） 消防設備保守点検 給排水衛生設備保守点検 自家用電気工作物点検 清掃業務 警備業務 一般廃棄物収集運搬業務</p> <p>【H22 入館者数】 9,415人</p>	<p>A</p>	<p>文化財課</p>
<p>中世の館運営管理事業（施設管理運営事業）</p>	<p>郷土の歴史及び文化芸術に親しむ機会を提供し、もって歴史教育及び文化芸術の振興を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 利用者数（20,000人）</p>	<p>平成20年度から指定管理制度導入し、中世の館及び浪岡城跡案内所の施設管理等を適正に実施しました。</p> <p>【指定管理者】 特定非営利活動法人 NPO 婆娑羅凡人舎</p> <p>【委託期間】 平成20年度～平成24年度</p> <p>・主な施設保守点検等実施（再委託） 環境整備業務（刈払いほか） 冷暖房設備点検 自家用電気保守点検 移動観覧席点検 空調機保守点検 ホール音響設備点検 舞台吊物装置点検 収蔵庫空調設備保守点検 収蔵庫ガス燻蒸業務 機械警備業務 ピアノ調律業務</p> <p>【H22 利用者数】 23,223人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>

政策第4節：だれもが親しめるスポーツ・レクリエーション

施策1	スポーツ・レクリエーション活動の充実	
施策の成果	スポーツ・レクリエーション活動を通じて、だれもが生涯にわたり健康で明るく、活力ある生活を送ることができます。	
関連事業（14事業）の内部点検評価結果		評価
A：8件（57.2%） B：1件（7.1%） C：1件（7.1%） D：4件（28.6%）		
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業の目標達成割合が「A」評価、「B」評価が6割以上であり概ね良好である。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>スポーツ・レクリエーション活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青森市の特色である冬のスポーツのカーリングは、小学生から高校生まで一貫したカーリング政策を展開できるようになったが、更なる競技人口増加のため、各小・中学校への周知を強化する必要がある。 <p>地域スポーツの振興について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でのスポーツクラブの育成について検討が必要である。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14件中5件が芳しくない評価ではあるが、その理由を考えると概ね良好と思う。 ・実施事業により、参加者数などが減少しているものもあるようだが、その原因を分析し積極的に呼びかけ、引き続き多くの市民が気軽にスポーツ活動を行う機会の充実に努めてほしい。 ・地域に根ざした地域の教育力をも高めることが期待できる総合型地域スポーツクラブの設立や運営の支援などについて検討する必要がある。 		

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
スポーツ事業後援事業	本市のスポーツ振興を推進するため、スポーツ活動を行う市民（団体含む）に対しての後援事業を行います。 【H22 目標値】後援件数(81件)	後援名義使用の承認 113件 市長賞(楯、トロフィー等)の寄贈 9件 【H22 後援件数】 166件	A	文化スポーツ振興課
スポーツ賞表彰事業	市民のスポーツ活動に対する意識の啓発を図るため、スポーツの大会等で優秀な成績を収めた市民の功績を称えます。 【H22 目標値】 適正処理率(100%)	【平成22年度受賞者】 スポーツ賞 6名 1団体 スポーツ奨励賞 105名 24団体 【表彰式開催日、開催場所】 平成23年2月17日(木) 青森市男女共同参画プラザ AV多機能ホール 【H22 適正処理率】 97%	D	文化スポーツ振興課

生涯スポーツ・レクリエーション支援事業	スポーツ・レクリエーションに取り組む団体等に補助金、負担金の交付及び大会開催支援等を行い、スポーツ・レクリエーションにふれあう機会の充実を図ります。 【H22 目標値】 参加者数（9,549人）	あomoritwedeemarch 【開催時期】 10月16日、17日 【開催場所】青森市内7コース 【参加者数】1,001人 【補助金額】338,000円 青森県民駅伝 【開催時期】 9月5日 【開催場所】青森市 【参加者数】18人 (青森市選抜チーム) 【負担金額】158,000円 AOMORIオープン温泉卓球大会 【開催時期】 4月17日、18日 【開催場所】新青森県総合運動公園(青い森アリーナ) 【参加者数】456人 【補助金額】75,000円 久栗坂海水浴場開設事業 【開催時期】 7月26日～8月12日 (17日間) 【開催場所】 久栗坂字山辺に接する海岸 【利用者数】218人 青森市民体育祭支援業務 【開催時期】10月9日～11日、16日、17日、11月3日 【開催場所】青森市内8ヶ所 【参加者数】6,974人 歩くスキ一の集い開催業務 【開催時期】 平成23年1月31日 【開催場所】合浦公園 【参加者数】83人 【H22参加者数】 8,750人	B	文化スポーツ振興課
---------------------	---	---	---	-----------

合浦海水浴場運営管理事業	<p>夏季スポーツ・レクリエーションの一環である海水浴に楽しむことのできる機会の充実に努め、青少年の健全育成及びスポーツ・レクリエーションの振興を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 利用者数 (14,982 人)</p>	<p>【開場期間】 7月22日～8月23日 (33日間)</p> <p>【H22 利用者数】 15,012人</p>	A	文化スポーツ振興課
青森市体育・スポーツ競技団体育成強化事業	<p>各種スポーツ団体、各種スポーツ大会の中で、市のスポーツ振興に資する事業に対し助成し、本市のスポーツ・レクリエーション振興に努めます。</p> <p>【H22 目標値】 参加者数 (1,200 人)</p>	<p>市町村対抗青森県民体育大会 選手派遣事業</p> <p>【開催時期】 7月31日、8月1日</p> <p>【開催場所】五所川原市</p> <p>【参加者数】322人</p> <p>青函対抗総合体育大会開催・選手派遣事業</p> <p>・夏季大会</p> <p>【開催時期】 7月17日、18日、25日</p> <p>【開催場所】青森市</p> <p>【参加者数】925人</p> <p>・冬季大会</p> <p>【開催時期】 平成23年2月12日</p> <p>【開催場所】青森市</p> <p>【参加者数】70人</p> <p>国民体育大会選手派遣事業</p> <p>【開催時期】 平成23年9月25日 ～10月5日</p> <p>【開催場所】千葉県</p> <p>【参加者数】5人</p> <p>【H22 参加者数】 1,322人</p>	A	文化スポーツ振興課
スポーツ振興施設運営管理事業（スポーツ振興事業）	<p>本市のスポーツ振興を推進するため、スポーツ活動の場を提供し、スポーツに親しむ機会の充実に努めます。</p> <p>【H22 目標値】 利用者数 (33,000 人)</p>	<p>【実施事業数】 84事業</p> <p>【参加者数】 30,623人</p> <p>【H22 利用者数】 30,648人</p>	C	文化スポーツ振興課

スキースロープ設置 助成事業	冬期間の体力向上を図り、雪を楽しむ体験ができるようにすることで、冬のスポーツ振興の基盤形成を図ります。 【H22 目標値】 設置助成要望のある小学校に対する助成割合（100%）	【対象】各小学校に設置する「スキースロープ設置運営委員会」 【助成範囲】スキースロープ設置費 【助成額】20,000円/校 【助成校数】28校 【H22 設置助成要望のある小学校に対する助成割合】 100%	A	文化スポーツ振興課
青森県体育指導委員 協議会事業 (負担金)	体育指導委員を活用することにより、スポーツの普及振興及び健康増進を図ります。 【H22 目標値】 指導種目数（26種類）	【負担金支払先・負担金額】 青森県体育指導委員協議会 (14,400円) 【H22 指導種目数】 26種類	A	文化スポーツ振興課
カブ・バンビ卓球大会 開催事業	卓球の技術レベルが未熟な低年齢層の選手が、大会の参加に向けた練習を通して、レベルの向上と底辺の拡大と意欲の向上を図ります。 【H22 目標値】 参加者数（220人）	【対象】 小学校1、2年生（バンビ） 3、4年生（カブ） 【開催日】 平成23年2月26日（土） 【開催場所】市民体育館 【平成22年度参加者数】 市内19校、4クラブ バンビ 男2人、女5人 カブ 男41人、女70人 【H22 参加者数】 118人	D	文化スポーツ振興課
小・中学校カーリング 普及事業	「カーリングの街あおもり」を実現するため、子どもたちがカーリングに触れる機会を増やし、子どもたちのカーリング技術の向上を推進します。 【H22 目標値】 参加者数（144人）	小・中学生参加によるカーリングチャレンジカップを開催しました。 【開催時期】 小学生 12月11日、12日 中学生 平成23年1月8日、10日 【開催場所】青森市スポーツ会館 【対象】市内小学生及び中学生 【参加者数】 小学生 108人（24チーム） 中学生 36人（8チーム） 【H22 参加者数】 144人	A	文化スポーツ振興課

<p>青森市スポーツ少年団本部活動事業 (補助金)</p>	<p>各種スポーツ団体、各種スポーツ大会の中で、市のスポーツ振興に資する事業に対し助成していきます。 【H22 目標値】 開催回数(9回)</p>	<p>【補助対象フェスティバル】 軟式野球フェスティバル (2回) ミニバスケットフェスティバル サッカーフェスティバル ソフトボールフェスティバル 冬季フェスティバル 【補助金交付先・交付額】 青森市スポーツ少年団 (124,000円) 【H22 開催回数】 6回</p>	<p>D</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>
<p>中世の里マスターズ 駅伝大会支援事業 (補助金)</p>	<p>駅伝競技の開催及び競技者・団体の交流を通じて、スポーツの振興を図る事業を支援します。 【H22 目標値】 参加者数(200人)</p>	<p>【開催日】9月23日(木) 【開催場所】浪岡地区内花岡丘陵 (花岡公園周辺) 【参加団体】11団体 【参加者数】駅伝競走98人 【補助金交付先・交付額】 中世の里マスターズ駅伝大会実行委員会 (457,000円) 【H22 参加者数】 231人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>
<p>スポーツフェスティバル支援事業 (補助金)</p>	<p>軽スポーツを体験する機会を提供し、競技人口の拡大を図る事業を支援します。 【H22 目標値】 参加者数(200人)</p>	<p>【開催日】10月10日(日) 【開催場所】 浪岡体育館、浪岡総合公園ほか 【参加者数】186人 【補助金交付先・交付額】 浪岡地区スポーツフェスティバル実行委員会 (72,000円) 【H22 参加者数】 220人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>

<p>浪岡地区体育大会支援事業 (補助金)</p>	<p>青森市浪岡地区の町会を単位とする対抗戦により、地域住民の健康と交流を図る事業を支援します。</p> <p>【H22 目標値】 球技大会・運動会参加者数 (2,500人)</p>	<p>夏季大会(球技大会) 【開催日】7月18日(日) 【開催場所】 浪岡体育館、浪岡総合公園ほか 【種目】ソフトボール、グラウンド・ゴルフ、卓球、バドミントン、ソフトバレーボール、ユニカール</p> <p>秋季大会(運動会) 【開催日】8月22日(日) 【開催場所】浪岡総合公園 【種目】混合リレー、100m競走、障害物競走、50m競走、シャモジレース、綱ひきほか 【補助金交付先・交付額】 浪岡地区体育大会実行委員会 (960,000円) 【H22 球技大会・運動会参加者数】 2,143人</p>	<p>D</p>	<p>教育課</p>
-------------------------------	---	---	----------	------------

施策2	競技力の向上		
施策の成果	各種スポーツ競技力が向上するとともに、青少年をはじめ多くのスポーツへの関心が高まり、スポーツ競技人口の拡大へつながります。		
関連事業（9事業）の内部点検評価結果			評価
A：3件（33.3%） B：0件（0%） C：1件（11.1%） D：5件（55.6%）			
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業のうち、「C」評価が11%、「D」評価が55%を占めており、事業の検証が必要である。 ・特に中学校体育大会関係、高等学校全国派遣等が軒並み「D」評価であり、負担金や補助金による支援もさることながら、指導者の育成とともに、今後のスポーツ人口の増加や競技力の向上に繋がったり、スポーツへの夢と関心を膨らませるような支援の工夫が求められる。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>指導者の育成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種スポーツ競技力の向上のため、県外から積極的に指導者を招請するなどにより、指導力の向上と充実を図るとともに、スポーツに参加する市民の拡大を図る必要がある。 ・学校の部活動の指導については、担当教員に負担がかかることのないよう、組織的な指導体制を整備するとともに、地域や学校の実態に応じて、保護者や地域住民の協力、各種団体との連携を図る必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 			
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・9件中6件が芳しくない評価であるが、その理由を考慮すると成果をあげていると思う。 ・各種大会等への負担金や補助金による支援は、競技力向上に少なからず寄与しているが、一流講師を招いての指導者研修会などを通して、指導技術の向上はもとより、情熱や使命感など指導者の資質向上に関係団体と一体となって取り組むことが必要である。 ・競技力向上のために、小・中学生の段階で、一定レベル以上の大会で好成績を収めた団体や個人を支援し、関係団体とも連携しながら早い時期からの選手強化の体制づくりを整備する必要がある。 			

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
全国高等学校カーリング選手権大会開催事業	<p>冬季間のスポーツであるカーリング競技を対象とした全国レベルの競技大会を開催し、競技力の向上を図るとともに、市民のカーリング競技への関心を高めながらカーリング競技人口の拡大を目指します。</p> <p>【H22 目標値】 来場者数（360人）</p>	<p>【開催時期】 平成23年2月10日～13日</p> <p>【開催場所】青森市スポーツ会館</p> <p>【参加者数】45人(10チーム)</p> <p>【H22 来場者数】 350人</p>	C	文化スポーツ振興課

<p>小学校体育デー開催事業 (負担金)</p>	<p>体育デーは、児童にとって大きなイベントの1つであり、期待と緊張の中で他校の選手との実力を確かめることができ、学区を越えて友好の輪を広めることができます。</p> <p>また、児童の間に広くスポーツの理解と関心を深めるとともに、積極的にスポーツを愛好する意欲を高め、併せて健康の維持を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 実施種目数(10 種目)</p>	<p>【平成22年度実績】 大会名称 第57回青森市小学校体育デー 【開催日】6月25日(金) 【開催場所】青森県総合運動公園 【協議種目数】10 種目 競技種目:ラジオ体操、走り幅跳び、ボール投げ、女子100m、男子100m、女子800m、男子1000m、女子リレー、男子リレー、ダンス 【参加校数】49校 【参加児童数】2,760人 【負担金支払先・負担金額】 青森市小学校長会 (100,000円) 【H22 実施種目数】 10 種類</p>	<p>A</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>
<p>青森市中学校体育大会夏季大会開催事業 (負担金)</p>	<p>日々の練習の成果を中体連において発揮させることにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や生徒の自己研鑽とともに、集団行動をする際の規範意識の醸成を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 実施種目数(15 種類)</p>	<p>【平成22年度実績】 大会名称 第61回青森市中学校体育大会夏季大会 【開催期間】6月19日(土)~21日(月) 【開催場所】 青森県総合運動公園ほか 【競技種目数】14 種目 競技種目:陸上、野球、バスケットボール、バレーボール、ソフトテニス、卓球、ソフトボール、体操、新体操、柔道、剣道、サッカー、水泳、バドミントン、 【参加校数】24校(市立21、青森山田中学校、青森明の星中学校、青森県立青森聾学校中学部) 【参加生徒数】8,398人 【負担金支払先・負担金額】 青森市中学校体育連盟 (250,000円) 【H22 実施種目数】 14 種類</p>	<p>D</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>

<p>青森市中学校体育大会冬季大会開催事業 (負担金)</p>	<p>日々の練習の成果を中体連において発揮させることにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や生徒の自己研鑽とともに、集団行動をする際の規範意識の醸成を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 実施種目数(1種目)</p>	<p>平成 22 年度は参加人数が少なかつたため開催できませんでした。</p> <p>【予定競技種目】 クロスカントリー</p> <p>【H22 実施種目数】 0 種目</p>	<p>D</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>
<p>中学校体育大会選手派遣事業 (補助金)</p>	<p>日々の練習の成果を県・東北・全国大会において発揮させることにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や生徒の自己研鑽を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 県・東北・全国大会への派遣選手数(915人)</p>	<p>【平成 22 年度派遣実績】</p> <p>全国大会 種目：水泳、卓球、バドミントン、剣道 会場数：4 会場 合計人数：25 人 交通費：2,382,290 円</p> <p>東北大会 種目：陸上、水泳、体操、新体操、ソフトテニス、卓球、バドミントン、柔道、剣道 会場数：9 会場 合計人数：146 人 交通費：2,234,620 円</p> <p>県大会 種目：野球、ソフトボール、サッカー、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、卓球、柔道、剣道、体操 会場数：10 会場 合計人数：374 人 交通費：1,089,060 円</p> <p>【補助金交付先・交付額】 青森市中学校体育連盟 (5,705,970 円)</p> <p>【H22 県・東北・全国大会への派遣選手数】 545 人</p>	<p>D</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>

<p>中学校体育大会開催事業 (補助金)</p>	<p>中学校体育大会を開催することにより、スポーツの振興のみならず、競技力の向上や自己研鑽を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 開催大会数(2回)</p>	<p>【平成22年度実績】 【補助金交付先】 青森市中学校体育連盟 第39回東北中学校ハンドボール大会 【開催期間】 8月8日(土)~10日(月) 【開催場所】新青森県総合運動公園(青い森アリーナ) 【補助金額】50,000円 【H22開催大会数】1回</p>	<p>D</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>
<p>高等学校全国大会選手派遣事業 (補助金)</p>	<p>補助金を交付することにより全国大会へ選手を派遣しやすい環境を整え、選手が全国大会に出場し他県の代表と競技することにより競技技術、体力の向上を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 選手派遣補助回数(5回)</p>	<p>【平成22年度補助実績】 男子第61回・女子第22回全国高校駅伝競走大会 【補助金交付先・交付額】 青森山田高等学校 (700,000円) 【開催期間】 12月26日(日) 【開催場所】京都府 西京極総合運動公園 第89回全国高校サッカー選手権大会 【開催期間】12月21日(火)~平成23年1月10日(月) 【開催場所】 東京都 国立競技場 他 【補助金交付先・交付額】 青森山田高等学校 (800,000円) 第90回全国高等学校ラグビーフットボール大会 【開催期間】12月27日(月)~平成23年1月8日(金) 【開催場所】大阪府 近鉄花園ラグビー場 【補助金交付先・交付額】 青森県立青森工業高等学校 (800,000円) 【H22選手派遣補助回数】3回</p>	<p>D</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>

<p>体育指導委員設置事業</p>	<p>体育指導委員を研修会へ派遣、又は自主研修させることにより、その指導・助言を受ける市民の技術が向上します。</p> <p>【H22 目標値】 指導回数 (2,200 回)</p>	<p>【現在の指導種目】 野球、卓球、体操、水泳、バレーボール、バスケットボール、フォークダンス、スキー、ソフトボール、ラケットテニス、ボクシング、リズムダンス、サッカー、カーリング、レクリエーションダンス、グラウンドゴルフ、ラージボール卓球、空手、バドミントン、民踊、ニュースポーツ、ソフトテニス、クロスカントリースキー、ウォーキング、エアロビクス</p> <p>【指導委員数】 40 人(青森地区 30 人 浪岡地区 10 人)</p> <p>【H22 指導回数】2,240 回</p>	<p>A</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>
<p>県民体育大会参加事業 (負担金)</p>	<p>負担金により大会が円滑に実施されることによって、市のスポーツ振興を図ります。</p> <p>【H22 目標値】 実施競技数に対する派遣競技数割合 (100%)</p>	<p>【平成 22 年度実績】 【開催日】7 月 31 日(土)、 8 月 1 日(日) 【開催地】五所川原市 【実施競技数】市の部 18 競技 町村の部 17 競技 【参加者数】322 人 【負担金支払先・負担金額】 第 65 回市町村対抗青森県民体育大会五所川原市実行委員会 (100,000 円) 【H22 実施競技数に対する派遣競技数割合】 100%</p>	<p>A</p>	<p>文化スポーツ振興課</p>

施策3	スポーツ・レクリエーション施設機能の充実
施策の成果	だれもが生涯にわたり、年齢・体力・技術に応じてスポーツ・レクリエーション活動に親しむことができる環境が整います。
関連事業（7事業）の内部点検評価結果	評価
A：4件（57.1%） B：1件（14.3%） C：0件（0%） D：2件（28.6%）	
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> 概ね事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 スポーツ・レクリエーション施設は、どの施設も有効かつ積極的に活用されている。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>スポーツ・レクリエーション施設の利用について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校プール未設置校やプールを使用できない学校の水泳授業に対する「スイミング支援事業」は継続していく必要がある。 利用期間2ヶ月の「勤労者プール」のあり方について、費用対効果等の観点から検討が必要である。 <p>学校の部活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校での指導者である教員の多忙化、高齢化、女性教員の増加等を要因として厳しい状況にあることから、スポーツ少年団等の社会体育への移行や地域の指導者の協力を得ながら学校の体育館、校庭の施設開放の利用等、学校の部活動からスポーツ少年団への移行のための検討が必要である。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 	
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> スムーズに実施されている。今後も継続して更に充実した内容にして欲しい。 スポーツ・レクリエーション施設は有効に活用されているようだが、優先順位の高いものから更なる環境整備充実に取り組んで欲しい。 スイミング支援事業は、プールのない学校の児童が水泳の授業を行う上で、大変効果的であり今後も継続して欲しい。 	

（資料）施策3 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
森の広場運営管理事業	自然に親しみながら、気軽にスポーツ・レクリエーションを楽しむことができる「森の広場」の運営管理を行い、スポーツ・レクリエーションの振興を図ります。 【H22 目標値】 利用者数（5,206人）	【開設期間】 5月1日～10月31日 【利用料金】無料 【H22 利用者数】 4,272人	D	文化スポーツ振興課

スポーツ振興施設運営管理事業（スポーツ施設管理）	公共施設の適正な管理運営を行い、スポーツに親しむ機会及び活動機会の充実を図り、本市のスポーツ振興を推進します。 【H22 目標値】 利用者数（720,000人）	【平成22年度利用者数】 市民体育館：155,356人 市民室内プール：66,955人 市営野球場：161,865人 市営庭球場：893人 スポーツ会館：143,205人 屋内グラウンド：154,270人 スポーツ広場：95,881人 【H22 利用者数】 778,425人	B	文化スポーツ振興課
勤労者プール運営管理事業	勤労者の健康及び体力の増進の場を提供するとともに、広く市民の体育・スポーツの普及及び振興を図り、健康で豊かな市民生活を形成するため、青森勤労者プールを設置し、安全かつ適正に管理運営を行います。 【H22 目標指標】 利用者数（10,414人）	【平成22年度開場期間】 7月3日(土)～8月31日(火) 【H22 利用者数】 9,518人	B	中央市民センター
青森市スポーツ少年団事務局運営事業	スポーツ少年団の円滑な活動に資するため、市が事務を行うことにより、登録団体の増加を図ります。 【H22 目標値】 登録団員数（2,560人）	【平成22年度実績】 【登録団体】56団体 【各種大会】軟式野球フェスティバル、ミニバスケットボールフェスティバル、サッカーフェスティバル、ソフトボールフェスティバル、冬季フェスティバル 【H22 登録団員数】 2,658人	A	文化スポーツ振興課
社会体育施設運営管理事業	多くの市民が気軽にスポーツを楽しむことで、健康の維持、増進を図ります。 【H22 目標値】 利用者数（28,450人）	【平成22年度利用者数】 夜間スポーツ広場：2,602人 リバーランド沖館：17,425人 瀬戸子グラウンド：150人 【H22 利用者数】 20,177人	D	文化スポーツ振興課
スイミング支援事業	より良い環境で水泳授業を行うことで、一層の健康増進を図ります。 【H22 目標値】 支援を必要とする学校数に対する支援対象実施校の割合（100%）	小学校14校で、水泳授業を通して児童の体力の向上を図り、水難防止の指導を行うことができたとともに、保護者の負担を軽減することができました。 【H22 支援を必要とする学校数に対する支援対象実施校の割合】 100%	A	指導課

<p>浪岡体育館運営管理 事業 (指定管理事務)</p>	<p>スポーツ・レクリエーション施設 機能の充実を図るとともに、スポ ーツ・レクリエーションに親しむ 機会を提供します。</p> <p>【H22 目標値】 本館及び別館利用者数(21,500 人)</p>	<p>【指定管理者】 浪岡青い森スポーツ協議会 主な施設保守点検業務 (再委託) 環境整備業務(刈払いほか) 冷暖房設備点検、機械警備業務、 自家用電気保守点検、消防用設備 点検、ボイラー・空調機保守点検、 昇降機保守点検、清掃業務</p> <p>自主事業 小学生陸上教室、健康づくり元旦 ジョギング、指導者養成講習会</p> <p>【H22 本館及び別館利用者数】 69,016人</p>	<p>A</p>	<p>教育課</p>
--------------------------------------	--	---	----------	------------

政策第5節：人の輪を広げる地域間交流

施策1	国際交流の充実	
施策の成果	それぞれの国の異なる文化・習慣に触れることにより、相互理解が深まるとともに、国際感覚が身に付きます。	
関連事業（3事業）の内部点検評価結果 A：2件（66.7%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：1件（33.3%）		評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施策を構成する事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>国際交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際交流は、児童生徒が異文化に触れ、理解し合える貴重な体験である。中学生の多感な時期に外国を見聞したり、外国の中学生と交流し合うことは、異文化理解にとどまらず人間形成に大きな成果をもたらすことができることから派遣事業等の継続的な実施が必要である。 ・ケチケメート市との交流については、平成21年度、平成22年度の2ヶ年間、本市からの作品送付が困難な状況であれば、継続して友好交流が行われ国際理解が深められる相手方を新しく検討する必要がある。 <p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに実施されている。今後も継続して更に充実した内容にして欲しい。 ・中学生が訪問国の歴史や文化に直接に触れ、国際感覚を身に付ける事業の意義は大きい。 ・児童生徒を指導する教職員の海外派遣も検討してはどうか。 		

（資料）施策1 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
大井基金活用事業 （少年海外生活体験事業）	異文化との交流を通じて国際理解とコミュニケーション能力を培い、次代を担う国際感覚を身につけた青少年の育成を図るため中学生の国際交流を実施します。 【H22 目標値】 参加者数（46人）	【平澤市派遣期間】 7月25日～30日 【青森市受入期間】 8月6日～11日 【平成22年度の参加者】 ・青森市23人、平澤市23人 【H22 参加者数】 46人	A	社会教育課
青森市中学生海外派遣・受入事業	本市の中学生と米国メイン州の中学生が相互に派遣受入れを行い、語学学習の向上や親善交流を図ります。 【H22 目標値】 研修会開催回数（5回）	【メイン州派遣期間】 平成23年1月4日～15日 【平成22年度参加者】 市内中学校1、2年生10人 【H22 研修会開催回数】 5回	A	教育課

<p>友好交流推進事業</p>	<p>異文化を理解し、広い視野をもった人材を育成します。</p> <p>【H22 目標値】 交流回数（4回）</p>	<p>ハンガリーの子どもたちとの作品交流等を通して、異文化に触れ、国際社会に生きる日本人としての自覚を高めました。</p> <p>【作品送付回数】日本からは、2回送付。ハンガリーからは、送付がなかった。</p> <p>【H22 交流回数】 2回</p>	<p>D</p>	<p>指導課</p>
-----------------	--	--	----------	------------

施策2	国内交流の充実	
施策の成果	類似の都市特性を有する地域に住む人々との交流を通じて、豊かな人間性や社会性が育まれ、広い見地が身に付くとともに、相互理解・友好が深まります。	
関連事業（1事業）の内部点検評価結果	A：1件（100%） B：0件（0%） C：0件（0%） D：0件（0%）	評価
<p>【全体を通しての意見】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務事業については、着実に実施され成果を上げている。 <p>【個別事業についての意見】</p> <p>縄文都市交流について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・縄文シティサミットへの参加により、本市の小牧野遺跡や三内丸山遺跡のPR等に努めるとともに、より一層全国の縄文遺跡を有する都市との交流等で相互理解や友好を深め、魅力ある情報発信を継続する必要がある。 <p>【目標指標の見直しについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業目的の達成状況を適確に評価できる目標指標とする必要がある。 		
<p>（学識経験者）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スムーズに実施されている。今後も継続して更に充実した内容にして欲しい。 ・縄文都市交流事業は、世界遺産登録推進の活動と関連付け、より充実した活動になるよう期待する。 		

（資料）施策2 関連事務事業内部点検評価結果

事務事業	事業目的	実施状況	評価結果	担当課
縄文都市交流事業	<p>縄文遺跡を有する都市の交流と結束を図り、縄文の魅力や歴史的意義を広くPRするとともに、それぞれのまちづくりに活かします。</p> <p>【H22 目標値】</p> <p>H22までの小牧野遺跡累計見学者数（11,000人）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・縄文シティサミット 【開催日】8月21日（土） 22日（日） 【開催場所】福島県福島市 【参加自治体】12自治体 【参加者数】280人 ・ホームページに掲載している縄文都市連絡協議会に加盟している自治体（16自治体）の縄文遺跡等に関する掲載内容を更新しました。 【H22までの小牧野遺跡累計見学者】 15,645人 	A	文化財課

4.まとめ

昨年度に引き続き、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条第1項に基づき、「教育委員会の責任体制の明確化」を図るため、教育委員会事務局が実施した学校教育や社会教育等に関する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の幅広い見地からの貴重な御意見をいただきながら、「点検及び評価」を実施した。

総評としては、教育委員会事務局の各事務事業の内部評価をもとにした教育委員会の3段階評価では「」と「」の割合が68.4%となり、昨年度に比べて5.2ポイント上昇したことから、概ね良好に事務が行われていると考えられる。しかしながら、市民の教育への関心は非常に高いことから、透明性の確保と説明責任を十分に果たすこと、真摯な事務事業への取組をもって積極的に市民の声に responding していかなければならないものとする。

そのためにも、各施策における事務事業の意義・目的を常に意識しながら、改善のための不断の努力を心がけ、引き続き長期的な展望に立った教育行政を推進して参りたい。

今回の評価結果については、以下の方向で対応して参りたい。

・「生きる力を育む教育環境」については、各事務事業が着実に成果を上げつつあることから概ね高い評価となった。施策の「確かな学力を育む教育の推進」の面では、特に「小・中学校連携教育課程研究開発事業」が、全小・中学校にくまなく浸透し、その活動も積極的であり効果も大きい。また、この施策は、教育委員会の重要施策の1つであることから、今後も子どもの確かな学力育成に向けた取組を積極的に展開していく。

・「生活と地域を豊かにする生涯学習」については、厳しい評価となった。今後、生涯学習推進の核となる人材の発掘や育成に更に力を入れるとともに、事業の理念・目的を明確にし、限られた予算、設備の中でより具体的な改善策を検討していく。

・「豊かな感性を磨く文化・芸術」については、概ね良好な評価となった。文化財の保存や活用、伝承・伝統文化の保存・継承など費用対効果だけでは計れない価値があることから、支援も含め長く継続して取り組んでいくことが求められる。今後とも事業の理念・目的を明確に打ち出し、市民への浸透・理解を十分に図りながら着実に事業を推進していく。

・「だれもが楽しめるスポーツ・レクリエーション」については、概ね良好な評価となった。実施事業により、参加者などが減少しているものもあるが、その原因を分析し、積極的に呼びかけ、引き続き多くの市民が気軽にスポーツ活動を行う機会の充実に努めていく。

・「人の輪を広げる地域間交流」については、高い評価となった。特に本市中学生の、外国の中学生との交流は、異文化理解にとどまらず人間形成に大きな役割を果たすことができることから、全体的な内容の検討を図りながら目指す目的や方向性に沿って事務事業の推進を図っていく。